

# Śivasahasranāma 『シヴァ千名』

— 翻刻・和訳・神名索引 —

古 宇 田 亮 修

## はじめに

インドの宗教において、神や仏の名前を称える称名という実践は、遅くとも西暦紀元頃より現在に至る長い間、重要な地位を占めてきたと考えられる。本稿ではヒンドウイズムに限定して論じることにするが、その信仰対象としては、紀元後から現在に至るまで、ヴィシュヌ神（しばしばクリシュナ神と同一視され、多くの化身を有する）とシヴァ神が二大柱であったとあってよからう。そしてその両神の名前・別名を集めて、韻文の讃歌にしたテキストが、Viṣṇusahasranāma 『ヴィシュヌ千名』（略号 Vsn）と、Śivasahasranāma 『シヴァ千名』（略号 Śsn）である。但し、「千名」といっても、重複を含めた延べの名称数が約千という意味であり、Śsn では、筆者のカウントでは、重複を省くと実際の総数は 908 であった<sup>1</sup>。本稿では、前年度の当研究所年報において公表した Vsn の翻刻・和訳・神名索引に引き続き、Śsn の翻刻・和訳・神名索引を掲載することとする。

Śsn のヴァージョンとして広く普及しているものとして、Mahābhārata（略号 MBhār）に含まれるものと、Liṅgapurāṇa に含まれるものの2種が挙げられる。その他、歴史的な重要性は劣ると思われるが、Śivapurāṇa, Padmapurāṇa, Skandapurāṇa, Saurapurāṇa, Śivarahasya にも Śsn というテキストが含まれている。それらの諸版に関しては、[Mahesānanda-giri] を参照されたい。本稿では、前稿の Vsn に倣い、MBhār の批判校訂版（略号 Ed.）に含まれるものを底本とした。

Śsn の著述年代に関しては、MBhār 編纂の経緯が歴史学的には殆ど未解明の

---

<sup>1</sup> 因みに Vsn では 876 であった。

ため、全く不明であるといわざるを得ない。Vsn と同様に、おそらく MBhār 編纂の中ではかなり遅い段階で編入されたのであろうが、その年代を特定することは容易でない。また、Liṅgapurāṇa に含まれる Śsn との関係も不明である為、Liṅgapurāṇa 版に比べ、MBhār に含まれる Śsn の方が古いと断言できるだけの証拠も現在のところ見つかっていない。尚、ヒンドウイズムにおける Śsn の歴史的意義についてここで述べるべきであろうが、本稿の筆者は Śaiva や Vaiṣṇava に関しても専門知識を欠くため、そのような大きな課題について論述することは控え、ここでは、本邦における Śiva 神に捧げる讃歌の先行研究として、[畝部 2011] があることを付言しておくにとどめる。また、本稿の作成に当り、井田克征（中央大学准教授）、吉澤秀知（大正大学非常勤講師）、平林二郎（大正大学総合仏教研究所）の諸氏より有益な御意見を頂戴したことをここに明記し、謝意を表する次第である。とはいえ本稿の文責は全て筆者にあることはいうまでもない。

### 1. 名前の配列について——音の反復に着目して

Śsn における名前の配列を仔細に観察してみると、Vsn と同様に、似たような音や単語から成る名前がまとめられている印象がある。これは名前の語形成（語源）を意識してまとめているという理由の他に、Śsn が韻文である以上、śabdālaṃkāra（音声の修辞法）<sup>2</sup>の一種である音の反復による心地良さを狙って、作者が意図して似た音を集めていることによるのであろう。むろん韻文を成立させる第一原則が韻律であることはいうまでもなく、音の反復はあくまで技法（alaṃkāra-の原義は「装飾」）の一種に過ぎないが、筆者が気づいた例を下記に列挙しておく。

5-7: vara を含む名前

8-11: sarva で始まる名前

13-15: in で終わる名前

18-19: hari で始まる名前

22-23: vṛtti を含む名前

29-30: cara で終わる名前

38-39: mahā で始まる名前

41-42: mahā で始まる名前

<sup>2</sup> śabdālaṃkāra の定義とその実例については、松濤（1981: 182-191）を参照のこと。

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 53-54: niyama で始まる名前      | 272-273: vāsa を含む名前        |
| 57-58: ādi で始まる名前         | 276-277: hema で始まる名前       |
| 60-61: akṣa で終わる名前        | 280-282: akṣa で終わる名前       |
| 66-67: graha で始まる名前       | 284-285: graha を含む名前       |
| 74-75: tapas で終わる名前       | 288-289: mukhya を含む名前      |
| 76-77: dīna を含む名前         | 290-291: deha で始まる名前       |
| 84-86: mahā で始まる名前        | 292-293: sarva で始まる名前      |
| 97-98: bala で始まる名前        | 294-295: bala を含む名前        |
| 99-101: gaṇa で始まる名前       | 305-307: vega で終わる名前       |
| 112-116: in で終わる名前        | 309-310: āvāsin-で終わる名前     |
| 120-121: tejas で始まる名前     | 324: vāma で始まる名前           |
| 140-142: ūrdhva で始まる名前    | 329-330: siddha で始まる名前     |
| 153-154: han で終わる名前       | 332-333: bhikṣu で始まる名前     |
| 155-156: loka で始まる名前      | 344-345: ṛtu で始まる名前        |
| 165-166: cārin で終わる名前     | 347-348: madhu で始まる名前      |
| 173-175: √nrt-の派生形を含む名前   | 353-355: cārin で終わる名前      |
| 200-202: gambhīra を含む名前   | 357-358: īś で始まる名前         |
| 203-204: nyagrodha で始まる名前 | 362-365: nand で始まる名前       |
| 218-219: tejas で終わる名前     | 370-372: līṅga を含む名前       |
| 226-228: in で終わる名前        | 327-374: adhyakṣa で終わる名前   |
| 231-234: in で終わる名前        | 376-377: bīja で始まる名前       |
| 235-236: kāla で始まる名前      | 384-386: dambha を含む名前      |
| 249-250: cārin で終わる名前     | 387-388: vaśya で始まる名前      |
| 252-253: sarva で始まる名前     | 399-400: nīti を含む名前        |
| 255-256: in で終わる名前        | 401-402: śuddha で始まる名前     |
| 258-259: tri で始まる名前       | 406-407: arpan/arpaṇ を含む名前 |
| 260-261: bandha を含む名前     | 409-410: kāra で終わる名前       |
| 270-271: sarva で始まる名前     | 413-414: mahā で始まる名前       |

416-417: jvāla で終わる名前  
419-420: √hu-の派生形を含む名前  
430-431: svasti で始まる名前  
432-433: bhāg で始まる名前  
436-437: mahā で始まる名前  
439-440: varṇa で終わる名前  
443-448: mahā で始まる名前  
450-456: mahā で始まる名前  
458-459: mahā で始まる名前  
462-463: lamb で始まる名前  
466-473: mahā で始まる名前  
478-479: snehana を含む名前  
482-483: vṛkṣa で始まる名前  
512-513: yajña で始まる名前  
515-518: kal/kāl/kar を含む名前  
519-520: gaṇa を含む名前  
522-523: bhasma で始まる名前  
526-527: gaṇa を含む名前  
531-532: śaṅku を含む名前  
536-537: stha で終わる名前  
541-542: śākha を含む名前  
546-547: kapila を含む名前  
566-567: vaṃśa を含む名前  
527-573: anila/anala を含む名前  
574-576: bandha を含む名前  
579-580: mahā で始まる名前  
587-588: deva で終わる名前  
623-624: garbha で終わる名前

635-636: āśay/aśay を含む名前  
640-641: sat を含む名前  
645-646: kūla で始まる名前  
647-648: bahu で始まる名前  
649-651: v で始まる名前  
653-654: cand/chad を含む名前  
659-660: siddhārtha で始まる名前  
662-665: śimha で始まる名前  
671-672: aṅga を含む名前  
675-676: bhūta で始まる名前  
693-696: go/g で始まる名前  
702-703: jita で始まる名前  
708-709: mahā で始まる名前  
712-713: dh で始まる名前  
716-717: āve で始まる名前  
719-720: toraṇa/tāraṇa を含む名前  
724-726: √vṛdh-の派生形を含む名前  
730-731: pati を含む名前  
732-733: yukta で始まる名前  
736-737: śādhā を含む名前  
751-752: samāmnāya を含む名前  
755-756: jīv を含む名前  
760-761: ra で始まる名前  
768-769: roha を含む名前  
772-773: kalpa で終わる名前  
776-777: rūpa で終わる名前  
785-787: māla で終わる名前  
794-795: vṛṣabha で始まる名前

800-801: su で始まる名前  
 805-806: su で始まる名前  
 812-813: bahu/bāhu で始まる名前  
 814-815: sa で始まる名前  
 816-817: stālin で終わる名前  
 820-821: chattra を含む語  
 826-827: vi で始まる名前  
 839-842: sa/sa で始まる名前  
 851-853: garbha で終わる名前  
 856-859: brahma/brāhma で始まる名前  
 876-877, 879: umā で始まる名前

880-884: vara/varā で始まる名前  
 897-898: ātman で終わる名前  
 923-924: kṣa で始まる名前  
 930-931: sat を含む名前  
 937-939: dvāra で終わる名前  
 945-950: deva/devāsura で始まる名前  
 951-952: devāsuraḡaṇa で始まる名前  
 954-959: deva/devāsura で始まる名前  
 968-969: viraj を含む名前  
 989-990: śrṅg で始まる名前

## 2. Viṣṇusahasranāma と共通する名前

Śsn に挙げられる名前の内、Vsn に挙げられる名前と共通するものがある。その数は、筆者のカウントでは 112 であった。但し、両者のテキストは異読が多数あるため厳密な比較は不可能に近いが、大まかな比較のために、本稿では〔古宇田 2023〕のテキストと比較した結果を、以下に一覧として記しておくことにする。

SN	名前	語源的意味等	Vsn	Śsn
1	akṣara-	不滅の者	17, 481	394
2	acala-	不動の者	745	349
3	acintya-	思慮の及ばない者、不可思議な者	831	961, 1006
4	aja-	不生の者	95, 204, 521	136
5	ajita-	征服不能の者	549	480, 597
6	anagha-	罪と無縁の者	146, 832	73
7	anala-	火	293, 711	484, 573
8	animiṣa-	まばたきをしない者	215	92
9	anila-	風	234, 812	572

10	amṛta-	不死の者／死者をもたない者	119	765
11	amogha-	必ず願いを叶える者	110, 154	683
12	ārtha-	意味, 価値, 目的	430	197
13	avyakta-	非顕現の者	722	933
14	avyaya-	不滅の者	13, 902	336, 982
15	ahan-	一日	90	922
16	āditya-	アディティの子孫, 太陽	39, 563	302, 903
17	īśvara-	主宰者	36, 74	358
18	ugra-	狂暴な者	421	298, 565
19	ṛtu-	季節	416	344, 912
20	kapila-	赤褐色の者	898	546
21	karṭṛ-	作り手／行為者	380	71, 286
22	kavi-	見者／詩人	132	389
23	kānta-	魅力的な者	296, 654	984
24	kāla-	時, 適時	418	235, 346, 359, 367, 516
25	kṛṣṇa-	青黒い者	57, 550	130
26	gabhīra-	奥深い者	543	201
27	gahana-	奥深い者	383, 544	779
28	guru-	尊師	209	838, 983
29	guhya-	隠されるべき者, 秘密	542	493
30	gopati-	牛飼い	495, 592	694
31	jaya-	勝利	509	220
32	tvaṣṭṛ-	工匠	52	607
33	dakṣa-	巧みな者	423, 917	690
34	deva-	神	375	558, 948
35	dhanvin-	弓をもつ者	76	109
36	dhātṛ-	定置者	43, 951	603
37	dhruva-	不動の者	388	26, 608, 738
38	nandana-	歓喜する者	527	364
39	nandin-	歓喜する者	560	363

40	naya-	世間智, 方策	399	911
41	nara-	[理想的な] 男	246	872
42	nigraha-	捕縛者	761	285
43	niyama-	制戒	161, 865	53
44	nirvāṇa-	涅槃: 寂靜の状態	575	941
45	nyagrodha-	ニヤグロ-ダ樹: イチジク の一種	822	204
46	padmagarbha-	蓮華を母胎とする者	348	623, 851
47	pavana-	風/浄化具	291	778
48	pavitra-	浄化具	62	51, 104, 843, 987
49	prajāpati-	生類の祖	69, 197	241
50	pratyaya-	原因	93	476
51	pramāṇa-	判断根拠	428, 959	80
52	babhru-	褐色の者	116	991
53	brahmavid-	梵を知る者	666	858
54	brāhmaṇa-	梵に携わる者, バラモン	667	859
55	bhagavat-	恩寵/福に満ちあふれる 者, 福満者	558	28, 809
56	bhūtabhāvana-	存在物を生み出す者	9	35, 619
57	bhojana-	食物	142	686
58	manu-	人類の始祖	51	46
59	manojava-	心のように速い者	690	868
60	mahātapas-	偉大な苦行をなす者	122	74, 86, 178, 771
61	mahātejas-	偉大な光熱力をもつ者	673	219
62	mahādeva-	偉大な神	491	587
63	mahābala-	大きな武力をもつ者	172	750
64	mahāmāya-	大きな幻力をもつ者	170	464
65	mānya-	尊敬されるべき者	749	403
66	muktānām paramā gati-	解脱者たちの最高の帰趨	12	1010
67	yajña-	祭祀	445, 971	212, 277, 512

68	lokādhyakṣa-	世間の監督者	133	374
69	varada-	願いを叶える者	330	6, 883
70	vāgmin-	雄弁な者	267	621
71	vājasana-	競争に勝つ者	796	351
72	vāmana-	[体の] 小さな者	152	45, 328
73	vāyu-	風	414	612, 721
74	vāyuvāhana-	風を乗物とする者	331, 856	485
75	vijaya-	征服	147	184
76	vibhu-	異なる形で現われる者	240, 880	148, 206, 681
77	virata-	[欲を] 厭離した者	396	396
78	virāma-	終結	395	996
79	viśvakarman-	あらゆる者の形成をなす者、造万物者	50	538
80	vṛkṣa-	樹木	555	651
81	vṛṣabha-	雄牛	257	794
82	vyavasāya-	決意、誓願	384	185
83	śarva-	矢で戦う者、射手	26	501, 583
84	śāśvata-	永遠の者	56	25
85	śikhāṇḍin-	鬚を持つ者	311	15
86	śiva-	吉祥者	27, 600	598
87	śuci-	清浄	155, 251	534
88	śūra-	勇者	339, 644	548
89	śṛṅgin-	角をもつ者	797	989
90	śrīmat-	シュリーに満ちあふれる者	22, 178, 220, 613	1013
91	śreṣṭha-	最も勝れた者	68	975
92	sat-	實在, 真	478	640, 930
93	satkṛta-	敬礼される者	242	691
94	saṃgraha-	統治者	158	294
95	saṃvatsara-	一年	91, 422	913
96	sarga-	世界創造	159	986
97	sarva-	一切	25	10

98	sarvaga-	一切に浸透する者	123	611
99	sarvajña-	一切を知る者	453, 815	88
100	sarvatomukha-	一切の方向に顔を向ける者	816	244
101	savitṛ-	刺激する者	884, 969	614, 905
102	saha-	耐え忍ぶ者	368	803
103	sahasrapad-	千の足をもつ者	227	834
104	siddha-	成就者	97, 819	330
105	siddhārtha-	目的を成就した者	252	660, 1004
106	siddhi-	成就／効験	98	223
107	sumukha-	美しい顔をもつ者	456	800
108	skanda-	跳躍する者	327	601
109	sthāṇu-	安定した者	28	2
110	sthira-	動かない者	203	1, 504, 509
111	hari-	黄褐色の者	650	18, 593, 775
112	havis-	焼き供	698	420

### 3. 古代インド語の片仮名表記について

古代インド語の片仮名表記については、近代日本においてインド学の導入以来、種々の方式が実践されてきているが、今回の翻訳では前回同様、以下の凡例に従うことにした<sup>3</sup>。

(1) 長母音については「ー」の幅を 50% に縮小して表した。

例：ācāra 「ア-チャーラ」

(2) 帯気音に関しては、片仮名では区別し難いため、波線を下に付して表記した。例：dharma 「ダ<sub>~</sub>ルマ」；bhūta 「ブ<sub>~</sub>-タ」

(3) 母音の ṛ に関しては、ri と区別するため、上に丸点を加えて「リ̇」と表記した。ṛ の発音は、Cardona (1994: 51) によれば、[əṛə] であったと推測されている。例：kartṛ 「カルトリ̇」 ⇔ hari 「ハリ」

<sup>3</sup> 詳細に関しては、[古宇田 2023] を参照されたい。但し、ルビを付ける際には、技術的な理由により、傍点を付けたり、下線を引いたりすることはできなかったため、その点における不統一については、ご寛恕願うものである。

(4) r を除く反舌音に関しては、傍点を加えて表記した。

例：puṇḍarīkākṣa 「プンダリーカークシヤ」；spāṣṭākṣara 「スパシユタークシヤラ」

(5) la 行の音に関しても、ra 行と区別するため、傍点を加えて表記した。

例：anila 「アニラ」；loka 「ローカ」；durlabha 「ドウルラバ」

(6) śi, ṣi, si に関しては、それぞれ「シ」「シ」「スイ」で表記した。

例：śiva 「シヴァ」；maharṣi 「マハルシ」；siddha 「スイツダ」

(7) ja 行の音に関しては、「ヂ」の文字を用いた。例：ja 「ヂヤ」, jina 「ヂイナ」

(8) jña に関しては、「ギヤ」と表記した。

例：jñānāyoga 「ギヤナヨーガ」；yajña 「ヤツギヤ」

(9) Visarga については、上付き文字で表記した。

例：duḥkha 「ドゥフカ」；viniṣṛta 「ヴィニヒスリタ」

#### 4. 底本と翻訳について

本稿の底本としては、MBhār (13, 17, 1-171) の批判校訂版 (Ed.) を用いた。Liṅgapurāṇa に含まれる Śsn との相違を全て記すと余りに煩雑となるため、今回は異読については無視することとした。但し、v.156 の後から v.157 に至る箇所に関しては、批判校訂版の読みでは文意が成立していないと考えられるため、批判校訂版に挙げられる異読に従って、テキストを変更した。尚、テキストの変更箇所はイタリックで表記した。但し、詩番号に関しては変更していない。

翻訳における神名については、その語源的意味を ( ) 内に記した。また、複合語から成る名に関しては、複合語の解釈でいかようにも解釈が可能であるため、一つの解釈を提示したまでと了解されたい。例えば、後分に ātman- という語がきた場合、「(～という) 霊魂」と訳すこと (隠喩的用法) も可能であるし、「(～という) 霊魂をもつ者」という Bahuvrīhi で解釈することも可能である。本稿では、一読しての分かりやすさを重視して、いずれを採用するかを判断した。その意味で本稿の筆者は別の解釈を否定するものではない。また、訳文中の斜線「/」は「あるいは」を意味する。

〈参考文献〉

(一次文献)

Mahābhārata (MBhār, Ed.) *The Mahābhārata for the First Time Critically Edited.* by V.S. Sukthankar, P. Belvalkar, P. L. Vaidya et al., Poona: Bhandarkar Oriental Institute, 1933-1966.

Maheśānanda-giri, Svāmī (ed.). Saṃvat 2063. *Śrī-Śivasahasranāmasaṅgraha*, Vārāṇasī: Śrī-Dakṣiṇāmūrti Math, Prakāśan.

(二次文献)

Debroy, Bibek. 2014. *The Mahabharata, Volume 9 (Sections 86 to 87)*, Gurgaon: Penguin Random House India.

Dōyama, Eijirō & Gotō, Toshifumi. 2022. *Rig-Veda. Das Heilige Wissen: Sechster und Siebter Liederkreis*, Berlin: Verlag der Weltreligionen.

Dutt, M. N. 2008. *Mahābhārata: Sanskrit Text and English Translation*, Vol. IX, Delhi: Parimal Publications.

Ganguli, Kisari Mohan. 1993. *The Mahabharata of Krishna-Dwaipayana Vyasa, Translated into English prose from the original Sanskrit text*, 4 vols, New. Delhi: Munshuram Manoharlal.

Gonda, Jan. 1954. *Aspects of Early Viṣṇuism*, Utrecht: N.V.A. Ooster's Uitgevers Mij.

Kumar, Vijaya. 2006. *The Thousand Names of Shiva*, New Delhi: Sterling Publishers.

畝部俊也 2011 「『シヴァターンドヴァ・ストートラ』和訳研究」『名古屋大学文学部研究論集. 哲学』57: 19-39.

大島智靖・西村直子・後藤敏文 2012『GAV——古インド・アーリヤ語文献における牛——』総合地球環境学研究所 インダス・プロジェクト.

古宇田亮修 2023 「Viṣṇusahasranāma 『ヴィシュヌ千名』——翻刻・和訳・神名索引——」『三康文化研究所年報』54: 1-68.

坂田貞二 2005 「ヒンディー語とサンスクリット語の諸事典におけるヴィシュヌ神の名辞と記述——ヒンドゥー教徒の信仰実践との関連において——」『拓殖大学語学研究』110: 139-162.

松濤誠廉 1981 「Saudarananda に現れた Śabdāṅkāra」『馬鳴 端正なる難陀』(松濤誠廉先生遺稿集刊行会編) 山喜房佛書林: 182-191.

翻刻ならびに和訳  
(MBhār 13, 17, 1-171)

vāsudeva uvāca:

ヴァースデーヴァは言いました。

tataḥ sa prayato bhūtvā mama tāta yudhiṣṭhira,  
prāñjaliḥ prāha vipraṁśir nāmasaṁhāram āditaḥ. (1)

それから、尊師ユディシュティライよ、かの聖仙(=ウパマニユ)は、潔斎し、合掌して、名前の集まりを最初から唱えました。

upamanyur uvāca:

ウパマニユは言いました。

brahmaproktair ṛṣiproktair vedavedāṅgasambhavaih,  
sarvalokeṣu vikhṛyātaiḥ sthāṇuṁ stoṣyāmi nāmaḥbhīḥ. (2)

梵天によって唱えられ、聖仙によって唱えられ、ヴェーダやヴェーダ<sup>4</sup>に起源をもち、一切世間においてよく知られた[シヴァの]諸々の名前によって、スタ<sup>タ</sup>-ヌ<sup>ヌ</sup>(=シヴァ)を満足させましょう。

mahadbhir vihitaiḥ satyaiḥ siddhaiḥ sarvārthasādhakaiḥ,  
ṛṣiṇā taṇḍinā bhaktyā kṛtair devakṛtātmanā. (3)

偉大であり、儀軌に従い、真実であり<sup>5</sup>、[行を]成就し、一切[衆生]の目的を成就させる聖仙タンディは、感服<sup>バクティ</sup>をもって、神に対して靈魂を捧げるものとなったのです。

yathoktair lokavikhyātaiḥ munibhis tattvadarśibhiḥ,  
pravaram prathamam svargyam sarvabhūtahitam śubham,  
śrutaiḥ sarvatra jagati brahmalokāvatāritaiḥ. (4)

一切の衆生の間でよく聞かれ、梵天世界から降ろされ、世間によく知られ、真実を見る聖者たちによって唱えられた[諸々の名前]によって、[かのシヴァ神

<sup>4</sup> 直訳すれば、「ヴェーダの体枝」。Śikṣā (音声学), Kalpa (儀軌学), Vyākaraṇa (文法学), Nirukta (訓积学), Chandas (韻律学), Jotiṣa (天文学)の6つから成るヴェーダの補助学。

<sup>5</sup> 「真実しか語らず」という意味。

は] 高貴であり、最上であり、天界に相応しく、一切の存在物の福祉であり、喜ばしいものとされるのです。

yat tad rahasyaṃ paramaṃ brahmaproktaṃ sanātanam.

vakṣye yadukulaśreṣṭha śṛṇuṣvāvahito mama. (5)

それは、秘密であり、至高であり、梵天によって唱えられ、永遠なるものです。私は述べましょう。ヤドゥ族の中の最も勝れた者よ、お聞きください、私の[言葉に]集中しながら。

paratvena bhavaṃ devaṃ bhaktas tvam parameśvaram,

tena te śrāvayiṣyāmi yat tad brahma sanātanam. (6)

貴方は至高の主宰者であるバヴァ神(=シヴァ)に対し、最勝の者として感服しています。それ故、貴方に、永遠の梵である[シヴァ千名]をお聞かせしましょう。

na śakyam vistarāt kṛtsnam vaktuṃ śarvasya kenacit.

yuktenāpi vibhūtīnām api varṣasatair api. (7)

射手(=シヴァ)の全ての威神力を詳しく述べることは、誰であっても不可能です——たとえ100年の間専念したとしても。

yasyādir madhyam antaś ca surair api na gamyate,

kas tasya śaknuyād vaktuṃ guṇān kārtsnyena mādharma. (8)

彼の始まり・中間・終りは、神々によっても理解できません。マ-ダヴァよ、彼の諸々の美德を全て述べることなど誰ができましようか？

kiṃ tu devasya mahataḥ samkṣiptārthapadākṣaram,

śaktitaś caritaṃ vakṣye prasādāt tasya caiva hi. (9)

そうではありますが、私は偉大な神の主題と単語と音節を圧縮して、力の限り[彼の]偉業を述べましょう——じつに彼の恩寵によるのです。

aprāpyeha tato 'nujñāṃ na śakyah stotum īśvaraḥ,

yadā tenābhyanujñātaḥ stuvaty eva sadā bhavam. (10)

それゆえ、ここにおいて彼の許可を得ずして、主宰者は、どうして称讃されることが可能でしょうか？ 彼によって許可されたとき、その者が、バヴァ神(=シヴァ)を常に称讃するのです。

anādinidhanasyāhaṃ sarvayoner mahātmanah,

nāmnām kaṃcit samuddeśaṃ vaksye hy avyaktayoninah. (11)

始まりも終りもなく、一切の母胎であり、偉大な靈魂をもち、非顕現である母胎をもつ者の諸々の名前の僅かばかりの列挙を述べましょう。

varadasya vareṇyasya viśvarūpasya dhīmatah,

śṛṇu nāmasamuddeśaṃ yad uktaṃ padmayoninā. (12)

蓮華を母胎とする者（＝梵天）によって述べられたところの、願いを叶える者であり、お望みの者であり、一切の姿をもつ者である叡智ある者の名前の列挙をお聞きください。

daśa nāmasahasrāṇi yāny āha prapitāmahaḥ.

tāni nirmathya manasā dadhno ghr̥tam ivoddhṛtam. (13)

曾祖父は〔シヴァの〕1万の名前を述べましたが、**ダディ**（酸乳）から**グリタ**（バターオイル）<sup>6</sup>を抽出するように、それを思考力によって攪拌し、

gireḥ sāraṃ yathā hema puṣpāt sāraṃ yathā madhu,

ghṛtāt sāraṃ yathā maṇḍas tathaitat sāraṃ uddhṛtam. (14)

言葉から精髓である黄金を、花から精髓である蜜を、**グリタ**から精髓である**マンド**（醍醐）<sup>7</sup>を〔抽出する〕ように、そのように、この精髓（＝シヴァ千名）を抽出するのです。

sarvapāpmāpaham idaṃ caturvedasamanvitam,

prayatnenādhigantavyaṃ dhāryaṃ ca prayatātmanā,

śāntikaṃ pauṣṭikaṃ caiva rakṣoghaṇaṃ pāvanaṃ mahat. (15)

これは、一切の悪魔を追い払う者であり、四ヴェーダを完備し、努力によって近づかれるべきであり、靈魂を潔斎した者によって臆念されるべきであり、息災法であり、増益法であり、羅刹を殺す者であり、浄化具であり、偉大なものなのです。

idaṃ bhaktāya dātavyaṃ śraddadhānāstikāya ca,

nāśraddadhānarūpāya nāstikāyājītātmane. (16)

この〔シヴァ千名〕は、感服者に与えられるべきです——また、信仰をもつ

<sup>6</sup> dadhi-と ghr̥ta-の解釈については、[大島・西村・後藤 2012: 16] に従った。

<sup>7</sup> maṇḍa-が具体的に何を指す用語かは不明 (Cf. [大島・西村・後藤 2012: 20]).

者，[神の] 実在を信じる者にも。信仰のなさそうな者，[神の] 実在を信じない者，靈魂を征服していない者には [与えられるべきでは] ありません。

yaś cābhyasūyate devaṃ bhūtātmanāṃ pinākinam,  
sa kṛṣṇa narakam yāti saha pūrvaiḥ sahanugaiḥ. (17)

クリシュナよ、存在物の靈魂である、三叉戟をもつ神に不満を述べる者は、地獄に赴くのです——先導者と共に [あるいは] 信奉者と共に。

idaṃ dhyānam idaṃ yogam idaṃ dhyeyam anuttamam,  
idaṃ japyam idaṃ jñānam rahasyam idam uttamam,  
idaṃ jñātvāntakāle 'pi gacched dhi paramāṃ gatim. (18)

これは念想であり、これは実修であり、これは念想されるべき至高のものであり、これは低唱されるべきものであり、これは智慧であり、これは最高の秘密なのです。じつに、これを知れば、死の時ににおいても最高の帰趨に赴くにちがいません。

pavitram maṅgalaṃ puṇyam kalyāṇam idam uttamam,  
nigadiṣye mahābāho stavānām uttamaṃ stavam. (19)

これは浄化具であり、吉兆であり、福德であり、最高の幸運なのです。偉大な腕をもつ者よ、私は讃歌の中でも最高の讃歌を歌いましょう。

idaṃ brahmā purā kṛtvā sarvalokapitāmahaḥ,  
sarvastavānām divyānām rājatve samakalpayat. (20)

全ての世界の先祖である、梵天は、かつてこれを作り、一切の神聖な讃歌の中の王として創造しました。

tadāprabhṛti caivāyam īśvarasya mahātmanah,  
stavarājeti vikhyāto jagaty amarapūjitaḥ,  
brahmalokād ayaṃ caiva stavarājo 'vatāritaḥ. (21)

それ以来、偉大な靈魂をもつ主宰者に属するこれは、讃歌の王として衆生の間でよく知られ、神によって崇拜されています。そして、この讃歌の王は、梵天世界から [地上界に] 降ろされたのです。

yasmāt taṇḍiḥ purā prāha tena taṇḍikṛto 'bhavat,  
svargāc caivātra bhūlokaṃ taṇḍinā hy avatāritaḥ. (22)

タンディはかつて [この讃歌を] 唱えました。それによってタンディの偉業と

なつたのです。そして、まさに天界からこの地上界にタンディによって降ろされることになつたのです。

sarvamaṅgalaṃgalyaṃ sarvapāpapaṇāśanam,  
nigadiṣye mahābāho stavānām uttamaṃ stavam. (23)

偉大な腕をもつ者よ、一切の吉兆によって縁起が良く、一切の罪業を滅する者である、諸々の讃歌の中の最高の讃歌を私は歌いましょう。

brahmaṇām api yad brahma parāṇām api yat param,  
tejasām api yat tejas tapasām api yat tapaḥ. (24)

諸々の梵天にとってさえ梵であり、諸々の良き者にとってさえ最上であり、諸々の光熱力にとってさえ光熱力であり、諸々の苦行にとってさえ苦行であるところの [シヴァ千名を]。

śāntīnām api yā śāntir dyuṭīnām api yā dyutiḥ,  
dāntānām api yo dānto dhīmatām api yā ca dhīḥ. (25)

諸々の寂静にとってさえ寂静であり、諸々の輝きにとってさえ輝きであり、諸々の調教された者にとってさえ調教された者であり、諸々の叡智ある者にとってさえ叡智であり、

devānām api yo devo munīnām api yo munīḥ,  
yajñānām api yo yajñāḥ śivānām api yaḥ śivaḥ. (26)

神々にとってさえ神であり、諸々の聖者にとってさえ聖者であり、諸々の祭祀にとってさえ祭祀であり、諸々の吉祥なる者にとってさえ吉祥なる者であり、

rudrāṇām api yo rudraḥ prabhuḥ prabhavatām api,  
yogīnām api yo yogī kāraṇānām ca kāraṇam. (27)

ルドラたちにとってさえルドラであり、支配者たちにとってさえ支配者であり、ヨーギン実修者たちにとってさえヨーギン実修者であり、諸々の原因にとってさえ原因である、

yato lokāḥ sambhavanti na bhavanti yataḥ punaḥ,  
sarvabhūtātmabhūtasya harasyāmitatejasāḥ. (28)

彼から諸世界が生じますが、彼の中に [それらが] あるわけではありません。[シヴァは] 一切の存在物の靈魂に等しい者であり、測定不能の光熱力をもつハラ (=シヴァ) なのです。

aṣṭottarasahasraṃ tu nāmnāṃ śarvasya me śṛṇu,

yac chrutvā manujaśreṣṭha sarvān kāmān avāpsyasi. (29)

そして、<sup>シャルヴァ</sup>射手 (=シヴァ) の 1008 の名前について私からお聞きください。  
人間の中の最も勝れた者よ、それを聞けば、貴方は一切の願望を実現するでしょう。

sthiraḥ sthāṇuḥ prabhur bhānuḥ pravaro varado varaḥ,

sarvātmā sarvavikhyātaḥ sarvaḥ sarvakaro bhavaḥ. (30)

1. スティラ (動かない者), 2. スタ-<sup>レ</sup>ヌ (安定した者), 3. プラブ (主), 4. バス (光明), 5. プラヴァラ (高貴な者), 6. ヴアラ・ダ (願いを叶える者), 7. ヴアラ (最上者), 8. サルヴァ-トマン (一切の者の靈魂), 9. サルヴァ・ヴィクヤタ (一切の者によく知られた者), 10. サルヴァ (一切), 11. サルヴァ・カラ (一切をおこなう者), 12. バヴァ (起源),

jaṭi carmī śikhaṇḍī ca sarvāṅgaḥ sarvabhāvanaḥ,

hariś ca hariṇākṣaś ca sarvabhūtaḥ prabhuḥ. (31)

13. チャティン (弁髪者), 14. チャルミン (毛皮を着る者), 15. シカ<sup>ン</sup>ディン (鬘を持つ者), 16. サルヴァ-ンガ (一切を体肢とする者), 17. サルヴァ・バヴァナ (一切を生み出す者), 18. ハリ (黄褐色の者), 19. ハリナ-クシヤ (カモシカのような眼をもつ者), 20. サルヴァ・ブ-タ・ハラ (一切の存在物を追い払う者), 21. プラ<sup>ブ</sup> (主),

pravṛttiś ca nivṛttiś ca niyataḥ śāśvato dhruvaḥ

śmaśānacārī bhagavān khacaro gocaro 'rdanaḥ (32)

22. プラ<sup>ヴ</sup>リッティ (顕現), 23. ニ<sup>ヴ</sup>リッティ (陰滅), 24. ニヤタ (制戒した者), 25. シャ-シュヴァタ (永遠の者), 26. ドルヴァ (不動の者), 27. シュマ<sup>シャー</sup>-ナ・チャーリン (墓地を徘徊する者), 28. バガヴァット (恩寵/福に満ちあふれる者), 29. カ・チャラ (空中を進む者), 30. ゴ-チャラ (感官の対象), 31. アル<sup>ダ</sup>ナ (迫害者),

abhivādyo mahākarmā tapasvī bhūtabhāvanaḥ,

unmattaveśapracchannaḥ sarvalokaprajāpatiḥ. (33)

32. バヴァ-ドヤ (敬礼されるべき者), 33. マ<sup>ハ</sup>-カルマン (偉大な行為を

なす者), 34. タパスヴィン (苦行者), 35. ブ-タ・バ-ヴァナ (存在物<sup>8</sup>を生み出す者), 36. ウンマッタ・ヴェーシャ・ブラッチャンナ (狂人の容貌に変装した者), 37. サルヴァ・ローカ・プラチャ・パティ (一切世間の生類の主),

mahārūpo mahākāyaḥ sarvarūpo mahāyaśāḥ,  
mahātmā sarvabhūtaś ca virūpo vāmano manuḥ. (34)

38. マハ・ルパ (偉大な姿をもつ者), 39. マハ・カーヤ (大きな体をもつ者), 40. サルヴァ・ルパ (一切の姿をもつ者), 41. マハ・ヤシャス (偉大な名声をもつ者), 42. マハートマン (偉大な靈魂), 43. サルヴァ・ブ-タ (一切の存在物), 44. ヴィルパ (姿を変える者), 45. ヴァーマナ ([体の] 小さな者), 46. マヌ (人類の始祖),

lokapālo 'ntarhitātmā prasādo hayagardabhiḥ,  
pavitraś ca mahāṃś caiva niyamo niyamāśrayaḥ. (35)

47. ロ-カ・パ-ラ (世間の守護者), 48. アンタルヒタートマン (靈魂を隠した者), 49. プラサーダ (恩寵), 50. ハヤ・ガルダビ (ラバを乗物とする者), 51. パヴィト<sup>ラ</sup> (浄化具), 52. マハット (偉大な者), 53. ニヤマ (制戒), 54. ニヤマシユラヤ (制戒を抛り所とする者),

sarvakarmā svayambhūś ca ādir ādikaro nidhiḥ,  
sahasrākṣo virūpākṣaḥ somo nakṣatrasādhakaḥ. (36)

55. サルヴァ・カルマン (一切の行為をなす者), 56. スヴァヤン・ブ- (独りで生じる者), 57. アーディ (始まり), 58. アーディカラ (始まりを作る者), 59. ニ<sup>ディ</sup> (蔵, 器), 60. サハスラクシャ (千の眼をもつ者), 61. ヴィルバクシャ (醜い目をもつ者), 62. ソマ (祭式に用いられる特定の植物とその汁), 63. ナクシャトラ・サ<sup>ダ</sup>カ (星宿の支配者),

candrasūryagatiḥ ketur graho grahapatir varāḥ,  
adri adryālayaḥ kartā mṛgabāṅraṇo 'naghaḥ. (37)

64. チャンドラ・スリヤ・ガティ (月と太陽の帰趨), 65. ケトゥ (彗星), 66. グラハ (遊星), 67. グラハ・パティ (遊星の主), 68. ヴァラ (最上者), 69. アドリ (岩), 70. アドリヤ<sup>ラ</sup>ヤ (岩の蔵), 71. カルト<sup>リ</sup> (作り手/行為者),

<sup>8</sup> 本稿では、「存在物 (bhūta-)」という訳語に「この世界に存在する生物・非生物」の意味を込めて使用したことに注意されたい。

72. ムリガ・バーナルパナ (鹿に向かって矢を放つ者), 73. アナガ (罪と無縁の者),

mahātāpā ghoratāpā adīno dīnasādhakah,  
saṃvatsarakaro mantraḥ pramāṇaṃ paramaṃ tapaḥ. (38)

74. マハー・タパス (偉大な苦行をなす者), 75. ゴーラ・タパス (恐るべき苦行をなす者), 76. アディーナ (悲惨と無縁の者), 77. ディーナ・サダカ (困窮者を成功させる者), 78. サンヴァツツァ・カラ (年を作る者), 79. マントラ (真言), 80. プラマーナ (判断根拠), 81. パラマ・タパス (最上の苦行/熱力),

yogī yojyo mahābījo mahāretā mahātāpāḥ,  
suvarṇaretāḥ sarvajñaḥ subījo vṛṣāvāhanaḥ. (39)

82. ヨーギン (実習者), 83. ヨーディヤ (瞑想されるべき者), 84. マハー・ビーヂャ (偉大な種子), 85. マハー・レタス (偉大な精子), 86. マハー・タパス (偉大な苦行をなす者), 87. スヴァルナ・レタス (黄金の精子をもつ者), 88. サルヴァ・ギヤ (一切を知る者), 89. ス・ビーヂャ (良い種子をもつ者), 90. ヴリシヤ・ヴァーハナ (牛を乗物とする者),

daśabāhus tv animiṣo nīlakaṇṭha umāpatiḥ,  
viśvarūpaḥ svayaṃśreṣṭho balavīro balo gaṇaḥ. (40)

91. ダシヤ・バーフ (10本の腕をもつ者), 92. ア・ニミシヤ (まばたきをしない者), 93. ニーラ・カンタ (蒼い首をもつ者), 94. ウマー・パティ (ウマーの主人), 95. ヴィシュヴァ・ルパ (あらゆる姿をとる者), 96. スヴァヤン・シュレーシュタ (孤高の者), 97. バラ・ヴィーラ (戦闘力ある戦士), 98. バラ (力, 戦闘力), 99. ガナ (軍勢),

gaṇakartā gaṇapatir digvāsāḥ kāmya eva ca,  
pavitraṃ paramaṃ mantraḥ sarvabhāvakaro haraḥ. (41)

100. ガナ・カルトリ (軍勢を作る者), 101. ガナ・パティ (軍勢の長), 102. ディグ・ヴァーサス (方位を衣服とする者), 103. カミヤ (愛されるべき者), 104. パラマ・パヴィトラ (最上の浄化具), 105. マントラ (真言), 106. サルヴァ・バヴァ・カラ (一切の感情を作る者), 107. ハラ ([心] 奪う者),

kamaṇḍaludharo dhanvī bāṇahastaḥ kapālavān,  
aśanī śataghñī khaḍgī paṭṭīśī cāyudhī mahān. (42)

108. カマ<sup>ン</sup>ダル・ダ<sup>ラ</sup> (水瓶を保持する者), 109. ダ<sup>ン</sup>ヴィン (弓をもつ者),  
110. バ<sup>ナ</sup>・ハスタ (矢を手にする者), 111. カバ<sup>ラ</sup>ヴァ<sup>ット</sup> (頭蓋骨をもつ者),  
112. アシャ<sup>ニン</sup> (雷をもつ者), 113. シャ<sup>タ</sup>グ<sup>ニン</sup> (〈百人殺し〉という武器を  
もつ者), 114. カ<sup>ド</sup>ギン (剣をもつ者), 115. パ<sup>ッ</sup>ティシ<sup>ン</sup> (槍をもつ者), 116.  
ア<sup>ユ</sup>デ<sup>イン</sup> (武器をもつ者), 117. マ<sup>ハ</sup>ット (偉大な者),

sruvaha<sup>staḥ</sup> surūpaś ca tejas tejaskaro nidhiḥ,  
uṣṇīśī ca suvaktraś ca udagro vinatas tathā. (43)

118. スル<sup>ヴァ</sup>・ハスタ (スル<sup>ヴァ</sup>杓を手にする者), 119. ス・ル<sup>パ</sup> (美しい  
姿をもつ者), 120. テ<sup>ー</sup>チャ<sup>ス</sup> (光熱力), 121. テ<sup>ー</sup>チャ<sup>ス</sup>・カ<sup>ラ</sup> (光熱力を作る  
者), 122. ニ<sup>デ</sup>イ (蔵, 器), 123. ウ<sup>シ</sup>ニ<sup>ー</sup>シ<sup>ン</sup> (螺髪をもつ者), 124. ス・<sup>ヴァ</sup>  
ク<sup>トラ</sup> (美顔をもつ者), 125. ウ<sup>ダ</sup>グ<sup>ラ</sup> (抜きん出た者), 126. ヴ<sup>ィ</sup>ナ<sup>タ</sup> (腰の  
低い者),

dīrghaś ca harikeśaś ca sutīrthaḥ kṛṣṇa eva ca,  
sṛgālarūpaḥ sarvārtho muṇḍaḥ kuṇḍī kamaṇḍaluḥ. (44)

127. デ<sup>ィ</sup>ル<sup>ガ</sup> (長身の者), 128. ハ<sup>リ</sup>・ケ<sup>ー</sup>シャ (黄色い頭髪をもつ者), 129.  
ス・テ<sup>ィ</sup>ル<sup>タ</sup> (良い霊場), 130. ク<sup>リ</sup>シ<sup>ュ</sup>ナ (青黒い者), 131. ス<sup>リ</sup>ガ<sup>ー</sup>ル<sup>パ</sup>  
(ジャッカルの姿をとる者), 132. サ<sup>ル</sup>ヴァ<sup>ー</sup>ル<sup>タ</sup> (一切の目的), 133. ム<sup>ン</sup>ダ<sup>ー</sup>  
(剃髪した者), 134. ク<sup>ン</sup>デ<sup>ィ</sup> (壺), 135. カ<sup>マ</sup>ン<sup>ダ</sup>ル (水瓶),

ajaś ca mṛgarūpaś ca gandhadhārī kapardya api,  
ūrdhvaretā ūrdhvaliṅga ūrdhvaśāyī nabhastalaḥ. (45)

136. ア<sup>ー</sup>チャ (不生の者), 137. ム<sup>リ</sup>ガ<sup>ー</sup>ル<sup>パ</sup> (野獣の姿をとる者), 138. ガ<sup>ン</sup>  
ダ<sup>ー</sup>・ダ<sup>ー</sup>リ<sup>ン</sup> (芳香ある者), 139. カ<sup>パ</sup>ル<sup>デ</sup>ィン (縮れ毛の者), 140. ウ<sup>ー</sup>ル<sup>ド</sup>  
ヴァ<sup>ー</sup>・レ<sup>ー</sup>タ<sup>ス</sup> (精子を上昇させる者), 141. ウ<sup>ー</sup>ル<sup>ド</sup>ヴァ<sup>ー</sup>・リ<sup>ン</sup>ガ (上向きの男  
根をもつ者), 142. ウ<sup>ー</sup>ル<sup>ド</sup>ヴァ<sup>ー</sup>・シャ<sup>ー</sup>イ<sup>ン</sup> (仰向けに寝る者), 143. ナ<sup>バ</sup>・ス  
タ<sup>ラ</sup> (天空),

trijātaś cīravāsāś ca rudraḥ senāpatir vibhuḥ,  
ahaścāro 'tha naktam ca tigmamanyuḥ suvarcasah. (46)

144. ト<sup>リ</sup>・チャ<sup>タ</sup> (3本のお下げをもつ者), 145. チ<sup>ー</sup>ラ<sup>ー</sup>・ヴァ<sup>ー</sup>サ<sup>ス</sup> (樹皮を  
衣とする者), 146. ル<sup>ド</sup>ラ (恐ろしい者), 147. セ<sup>ー</sup>ナ<sup>ー</sup>・パ<sup>テ</sup>ィ (軍隊長), 148.  
ヴィ<sup>ブ</sup> (異なる形で現われる者), 149. ア<sup>ハ</sup>シ<sup>ュ</sup>・チャ<sup>ラ</sup> (日中に出歩く者),

150. ナクタン [・チャラ] (夜に出歩く者), 151. ティグマ・マニユ (激しい怒りをもつ者), 152. ス・ヴァルチャサ (美しい光輝をもつ者),

gajahā daityahā loko lokadhātā guṇākarah,  
siṃhaśārdūlarūpaś ca ārdracarmāmbārāvṛtaḥ. (47)

153. ガチャ・ハン (象を殺す者), 154. ダイティヤ・ハン (ダイティヤを殺す者), 155. ローカ (世間), 156. ローカ・ダートリ (世間を配置する者), 157. グネーカラ (美德の蓄積をもつ者), 158. スィンハ・シャルドゥーラ・ルーパ (ライオンと虎の姿をとる者), 159. アールドラ・チャルマンバラ・ヴリタ (血で濡れた毛皮を衣として着る者),

kālayogī mahānādaḥ sarvavāśaś catuṣpathaḥ,  
niśācaraḥ pretacārī bhūtacārī maheśvaraḥ. (48)

160. カーラ・ヨーギン (時刻を司る者), 161. マハー・ナーダ (大きな咆哮をなす者), 162. サルヴァ・ヴァーサ (一切の中に住む者), 163. チャトゥシュ・パタ (四辻), 164. ニシャー・チャラ (夜に歩き回る者), 165. プレータ・チャーリン (死霊の間を歩き回る者), 166. プータ・チャーリン (亡霊の間を歩き回る者), 167. マヘ・シュヴァラ (大主宰者),

bahubhūto bahudhanaḥ sarvādhāro 'mito gatiḥ,  
nṛtyapriyo nityanarto nartakaḥ sarvalāsakaḥ. (49)

168. バフ・プータ (多くの幸福をもつ者), 169. バフ・ダナ (多くの財産をもつ者), 170. サルヴァーダラ (一切のものの支柱), 171. ア・ミタ (測定不能の者), 172. ガティ (帰趨), 173. スリティヤ・プリヤ (踊りに愛された者), 174. ニティヤ・ナルタ (常に踊っている者), 175. ナルタカ (踊り手), 176. サルヴァ・ラーサカ (一切 [の演目] を踊る者),

ghoro mahātapāḥ pāśo nityo giricaro nabhaḥ,  
sahasrahasto vijayo vyavasāyo hy aninditaḥ. (50)

177. ゴーラ (恐るべき者), 178. マハー・タパス (偉大な苦行をなす者), 179. パーシャ (縄), 180. ニティヤ (恒常なる者), 181. ギリ・チャラ (岩山を歩き回る者), 182. ナバ (天空), 183. サハスラ・ハスタ (千の手をもつ者), 184. ヴィヂャヤ (征服), 185. ヴィヤヴァサーヤ (決意, 誓願), 186. ア・ニンディタ (非の打ち所がない者),

amarṣaṇo marṣaṇātmā yajñahā kāmanāśanaḥ,

dakṣayajñāpahārī ca susaho madhyamas tathā. (51)

187. ア・マルシヤナ (容赦のない者), 188. マルシヤナートマン (寛容を本質とする者), 189. ヤツギヤ・ハン (祭祀を破壊する者), 190. カーマナシヤナ (愛欲を滅ぼす者), 191. ダクシヤ・ヤツギヤパハリン (ダクシヤの祭祀を破壊する者), 192. スサハ (よく耐え忍ぶ者), 193. マヱイヤマ ([世界の] 中心である者),

tejopahārī balahā mudito 'rtho jito varaḥ,

gambhīraghoṣo gambhīro gambhīrabalavāhanaḥ. (52)

194. テージョー・パハリン (光熱力を奪う者), 195. バラ・ハン (戦闘力を破壊する者), 196. ムディタ (歓喜する者), 197. アルタ (意味, 価値, 目的), 198. デタ (勝者), 199. ヴァラ (最上者), 200. ガンビラ・ゴシヤ (強烈な咆哮をなす者), 201. ガンビラ (奥深い者), 202. ガンビラ・バラ・ヴァーハナ (強烈な力をもつ乗物),

nyagrodharūpo nyagrodho vṛkṣakarnaṣthitir vibhuḥ,

tīkṣṇatāpaś ca haryaśvaḥ sahāyaḥ karmakālavit. (53)

203. ニヤグロダ・ルーパ (ニヤグロダ樹のような姿をもつ者), 204. ニヤグロダ (ニヤグロダ樹), 205. ヴリクシヤ・カルナ・スティティ (樹木の耳 (= 葉) にとどまる者), 206. ヴィヅ (異なる形で現われる者), 207. ティークシュナ・ターパ (強烈な熱を放つ者), 208. ハリヤシュヴァ (赤茶の馬に乗る者), 209. サハーヤ (援助者), 210. カルマ・カラ・ヴィッド (行為をなすべき時を知る者),

viṣṇuprasādīto yajñah samudro vaḍavāmukhaḥ,

hutāśanasahāyaś ca praśāntātmā hutāśanaḥ. (54)

211. ヴィシュヌ・プラサディタ (ヴィシュヌに寵愛された者), 212. ヤツギヤ (祭祀), 213. サムドラ (海), 214. ヴァダヴァームカ (海中の火), 215. フターシヤナ・サハーヤ (祭火の同僚), 216. プラシャントマン (静謐な靈魂をもつ者), 217. フターシヤナ (祭火),

ugratejā mahātejā jayo vijayakālavit,

jiyotiśam ayaṇaṃ siddhiḥ saṃdhir vīgraha eva ca. (55)

218. ウグラ・テヂャス (強烈な光熱力をもつ者), 219. マハー・テヂャス (偉

大な光熱力をもつ者), 220. チャヤ (勝利), 221. ヴィチャヤ・カーラ・ヴィッド (征服に相応しい時を知る者), 222. ギョーティシヤン・アヤナ (星たちの黄道), 223. スィヅヅィ (成就／効験), 224. サンヅヅィ (同盟, 友好関係), 225. ヴィグラハ (闘争／身体),

śikhī daṇḍī jaṭī jvālī mūrtijo mūrdhago balī,

vaiṇavī paṇavī tālī kālah kālakataṃkataḥ. (56)

226. シキン (冠毛のある者), 227. ダンディン (杖をもつ者), 228. チャティン (弁髪者), 229. ムルティ・チャ (化身として生まれた者), 230. ムルダ・ガ (額の先にいる者), 231. バリン (武力をもつ者), 232. ヴァイナヴィン (竹笛をもつ者), 233. パナヴィン (鼓をもつ者), 234. ターリン (シンバルをもつ者), 235. カーラ (時, 適時), 236. カーラ・カタンカタ<sup>9</sup>,

nakṣatravigrahavidhir guṇavṛddhir layo 'gamaḥ,

prajāpatir diśābāhur vibhāgaḥ sarvatomukhaḥ. (57)

237. ナクシャトラ・ヴィグラハ・ヴィヅヅィ (星宿の形を規定する者), 238. グナ・ヴリヅヅィ (美德の増大をもたらす者), 239. ラヤ (溶解所), 240. ア・ガマ (不動の者), 241. プラチャ・パティ (生類の祖), 242. ディシャ・バーフ (方位を腕とする者), 243. ヴィバガ (分配), 244. サルヴァト・ムカ (一切の方向に顔を向ける者),

vimocanaḥ suragaṇo hiraṇyakavacodbhavaḥ,

medhrajō balacārī ca mahācārī stutas tathā. (58)

245. ヴィモチャナ (解脱させる者), 246. スラ・ガナ (神々の集団), 247. ヒラニヤ・カヴァチョドバヴァ (黄金の鎧から生まれた者), 248. メドドラ・チャ (陰茎から生まれる者), 249. バラ・チャーリン (力強く動く者), 250. マハー・チャーリン (偉大な遊行者), 251. ストゥタ (称讃される者),

sarvatūryaninādī ca sarvavādyaparigrahaḥ,

vyālarūpo bilāvāsī hemamālī taramgavit. (59)

252. サルヴァ・トゥーリヤ・ニナーディン (一切の楽器を演奏する者), 253. サルヴァ・ヴァーディヤ・パリグラハ (一切の楽器を手にとる者), 254. ヴィヤラールパ (蛇の姿をもつ者), 255. ビラヴァースィン (洞窟に住む者), 256. ヘーマ・

<sup>9</sup> 語源・意味ともに不明.

マ-リン (金の首飾りを着けた者), 257. タランガ・ヴィッド (波を知る者),  
tridaśas trikāladhṛk karmasarvabandhavimocanaḥ,

bandhanas tv asurendrāṇaṃ yudhiśatruvināśanaḥ. (60)

258. トリ・ダシヤ (三十神), 259. トリ・カ-ラ・ド<sup>レ</sup>リト (過去・現在・未来の三時を保持する者), 260. カルマ・サルヴァ・バンダ<sup>ダ</sup>・ヴィモ-チャナ (業による一切の束縛から解放する者), 261. アスレ-ンドラ-ナン・バンダ<sup>ナ</sup> (アスラの将軍たちを捕縛する者), 262. ユ<sup>デ</sup>イ・シヤトル・ヴィナ-シヤナ (戦争において敵を破滅させる者),

sāmkhyaprasādo durvāsāḥ sarvasādhuniṣevitaḥ,

praskandano vibhāgaś ca atulya yajñabhāgavit. (61)

263. サ-ンクヤ・プラサ-ダ (サ-ンクヤの恵みを受ける者), 264. ドウル・ヴァ-サス (裸体の者), 265. サルヴァ・サ-ド<sup>ウ</sup>・ニシエ-ヴィタ (一切の聖者に師事される者), 266. プラスカ<sup>ン</sup>ダ<sup>ナ</sup> ([敵に] 跳びかかる者), 267. ヴィ<sup>バ</sup>-ガ (分配), 268. ア・トウ<sup>リ</sup>ヤ (比類のない者), 269. ヤッギヤ・バ-ガ・ヴィッド (供物の分け前を知る者),

sarvāvāsaḥ sarvacārī durvāsā vāsavo 'maraḥ,

hemo hemakaro yajñāḥ sarvadhārī dharottamaḥ. (62)

270. サルヴァ-ヴァ-サ (一切を住まいとする者), 271. サルヴァ・チャ-リン (一切を歩き回る者), 272. ドウル・ヴァ-サス (裸体の者), 273. ヴァ-サヴァ (ヴァス神群の長), 274. ア・マ<sup>ラ</sup> (不死の者), 275. へ-マ (黄金), 276. へ-マ・カラ (黄金を作る者), 277. ヤッギヤ (祭祀), 278. サルヴァ・ダ-リン (一切を保持する者), 279. ダ<sup>ロ</sup>-ッタマ (最上の保持者=大地),

lohitākṣo mahākṣaś ca vijayākṣo viśāradaḥ,

samgraho nigrahaḥ kartā sarpacīranivāśanaḥ. (63)

280. ローヒタークシヤ (眼が赤い者), 281. マハクシヤ (眼が大きい者), 282. ヴィヂャヤクシヤ (征服への眼をもつ者), 283. ヴィシヤ-ラダ (怯えと無縁の者), 284. サングラハ (統治者), 285. ニグラハ (捕縛者), 286. カルトリ (作り手/行為者), 287. サルパ・チ-ラ・ニヴァ-サナ (蛇と襪を衣とする者),

mukhyo 'mukhyaś ca dehaś ca deharddhiḥ sarvakāmadaḥ,

sarvakālaprasādaś ca subalo balarūpadhṛk. (64)

288. ムクヤ (王, 長), 289. ア・ムクヤ (長をもたない者), 290. デ-ハ (肉

体), 291. デーハルツディ (肉体の神通力をもつ者), 292. サルヴァ・カーマ・ダ (一切の願いを叶える者), 293. サルヴァ・カーラ・ブラサーダ (一切の時の恵みを受ける者), 294. ス・バラ (非常に戦闘力のある者), 295. バラ・ルパ・ドリト (戦闘力と容姿を保持する者),

ākāśanidhirūpaś ca nipātī uragaḥ khagaḥ,

raudrarūpo 'mśur ādityo vasuraśmiḥ suvarcaśī. (65)

296. アーカーシャ・ニディ・ルパ (虚空を蔵とする者), 297. ニパーティン ([敵を] 打倒する者), 298. ウグラ (狂暴な者), 299. カ・ガ (空を飛ぶ者), 300. ラウドラ・ルパ (恐ろしい姿をもつ者), 301. アンシュ (光線), 302. アーディティヤ (アディティの子孫, 太陽), 303. ヴァス・ラシュミ (富の輝きをもつ者), 304. ス・ヴァルチャスィン (美しい光輝をもつ者),

vasuvego mahāvego manovego niśācaraḥ,

sarvāvāsī śriyāvāsī upadeśakaro haraḥ. (66)

305. ヴァス・ヴェーガ (富の激増をもたらす者), 306. マハー・ヴェーガ (大きな衝動をもつ者), 307. マノー・ヴェーガ (心のような速度をもつ者), 308. ニシャー・チャラ (夜に歩き回る者), 309. サルヴァーヴァスィン (一切を住まいとする者), 310. シュリヤーヴァスィン (シュリーを住まいとする者), 311. ウパデーシャ・カラ (教訓を作る者), 312. ハラ ([心] 奪う者),

munir ātmapatir loke sambhojyaś ca sahasradaḥ,

pakṣī ca pakṣirūpī ca atidīpto viśāṃ patiḥ. (67)

313. ムニ (聖者), 314. アートマ・パティ (靈魂の主), 315. ローケー・サンボヂュヤ (世間において享受されるべき者), 316. サハスラ・ダ (千のものを与える者), 317. パクシ (鳥), 318. パクシ・ルーピン (鳥の姿をもつ者), 319. アティディープタ (激しく燃え立つ者), 320. ヴィシャーン・パティ (庶民の統治者),

unmādo madanākāro arthārthakararomaśaḥ,

vāmadevaś ca vāmaś ca prāḡ dakṣiṇyaś ca vāmanaḥ. (68)

321. ウンマダ (狂者), 322. マダナーカーラ (カーマ神の姿をとる者), 323. アルタールタカラ・ローマシャ (目的の中の目的を実践する毛深い者), 324. ヴァーマ・デーヴァ (高貴な神), 325. ヴァーマ (高貴な者), 326. プラランチュ ([最も] 古い者), 327. ダクシニヤ (御布施に相応しい者), 328. ヴァーマナ ([体の] 小さな者),

siddhayogāpahārī ca siddhaḥ sarvārthasādhakaḥ,

bhikṣuś ca bhikṣurūpaś ca viṣṇāṇī mṛdur avyayaḥ. (69)

329. スィッダ・ヨ-ガーパハ-リン (成就者の実修を奪う者), 330. スィッダ (成就者), 331. サルヴァ-ールタ・サ-ダカ (一切の目的を成就する者), 332. ビクシユ (乞食者), 333. ビクシユ・ルーパ (乞食者の姿をとる者), 334. ヴィシヤ-ニン (角のある者), 335. ムリドゥ (優雅な者), 336. ア・ヴィヤヤ (不滅の者),  
mahāseno viśākhaś ca ṣaṣṭibhāgo gavām patih,

vajrahastaś ca viṣkambhī camūstambhana eva ca. (70)

337. マハ-セ-ナ (大きな軍隊をもつ者), 338. ヴィシヤ-カ (体肢のない者), 339. シヤシユティ-バ-ガ (60の部分から成る者), 340. ガヴァ-ン・パティ (牛たちの飼い主), 341. ヴァヂラ・ハスタ (棍棒を手にした者), 342. ヴィシユカンビン ([敵を] 撃退する者), 343. チャム-スタンバナ ([敵] 軍を押しとどめる者),

rtur ṛtukaraḥ kālo madhur madhukaro 'calah,

vānaspatyo vājaseno nityam-āśramapūjitaḥ. (71)

344. リトゥ (季節), 345. リトゥ・カラ (季節を作る者), 346. カー (時, 適時), 347. マドゥ (蜜), 348. マドゥ・カラ (蜜を作る者), 349. ア・チャラ (不動の者), 350. ヴァ-ナスパティヤ (樹木のもとに住む者), 351. ヴァ-チャ・セ-ナ (競争に勝つ者), 352. ニティヤム・ア-シュラマ・プ-ジタ (修行庵で常に崇拜される者),

brahmacārī lokacārī sarvacārī sucāraṇit,

tīśāna īśvaraḥ kālo niśacārī pinākadhṛk. (72)

353. ブラフマ・チャー-リン (梵行者), 354. ローカ・チャー-リン (世間を歩き回る者), 355. サルヴァ・チャー-リン (一切を歩き回る者), 356. ス・チャー-ラ・ヴィツド (良い行動を知る者)<sup>10</sup>, 357. イ-シャー-ナ (支配者), 358. イ-シュヴァ-ラ (主宰者), 359. カー (時, 適時), 360. ニシヤ-チャー-リン (夜に歩き回る者), 361. ピナ-カ・ド-リト (三叉戟を保持する者),

<sup>10</sup> cāraṇit-を「スパイを見つける者」と解せば, su-cāraṇit-で「よくスパイを見つける者」と解することも可能である. というのも, sucāra-で「良い行動」を意味する用例は, 他の文献でも一般的ではないためである.

nandīśvaraś ca nandī ca nandano nandivardhanaḥ,

bhagasyākṣinihantā ca kālo brahmavidāṃ varaḥ. (73)

362. ナンディ-シュヴァラ (ナンディンの主), 363. ナンディン (歓喜する者),  
364. ナンダナ (歓喜する者), 365. ナンディ・ヴァルダナ (歓喜を増大させる  
者), 366. バガスィヤ-クシ・ニハントリ (バガの眼を撃つ者), 367. カーラ (時,  
適時), 368. ブラフマ・ヴィダーン・ヴァラ (梵を知る者の中で最上の者),

caturmukho mahāliṅgaś cāruṅgaś tathaiva ca,

liṅgādhyakṣaḥ surādhyakṣo lokādhyakṣo yugāvahaḥ. (74)

369. チャトウル・ムカ (四つの顔を [リングに] もつ者), 370. マハ-リン  
ガ (偉大な男根をもつ者), 371. チャール・リング (美しい男根をもつ者), 372.  
リング-ドヤクシャ (リングの監督者), 373. スラ-ドヤクシャ (神々の監督者),  
374. ローカ-ドヤクシャ (世間の監督者), 375. ユガ-ヴァハ (ユガを巡らす者),

bījādhyakṣo bījakartā adhyātmānugato balaḥ,

itihāsakaraḥ kalpo gautamo 'tha jaleśvaraḥ. (75)

376. ビ-チャ-ドヤクシャ (種子の監督者), 377. ビ-チャ・カルトリ (種子を  
作る者), 378. アドヤトマ-ヌガタ (靈魂に関して追求した者), 379. パラ (力,  
戦闘力), 380. イティハ-サ・カラ (イティハ-サを作る者), 381. カルバ (儀軌),  
382. ガウタマ (最上の牛), 383. チャレ-シュヴァラ (水の主=海),

dambho hy adambho vaidambho vaśyo vaśyakaraḥ kavīḥ,

lokakartā paśupati mahākartā mahauśadhiḥ. (76)

384. ダンバ (詐欺), 385. ア・ダンバ (詐欺と無縁の者), 386. ヴァイダンバ  
(詐欺の一種<sup>11</sup>), 387. ヴァシヤ ([超常的な] 支配力), 388. ヴァシヤ・カラ (支  
配力を作る者), 389. カヴィ (見者/詩人), 390. ローカ・カルトリ (世間を作る  
者), 391. パシュ・パティ (家畜の飼い主), 392. マハ-カルトリ (偉大な作り  
手, 偉大な実践者), 393. マハウシャディ (偉大な滋養草),

akṣaram paramaṃ brahma balavān śakra eva ca,

nītir hy anītiḥ śuddhātmā śuddho mānyo manogatiḥ. (77)

394. アクシャラ (不滅の者), 395. パラマ (最上者), 396. ブラフマン (真言  
の実現力, 梵), 397. パラヴァット (戦闘力ある者), 398. シャクラ (全能者),

<sup>11</sup> 正確な意味は不明であり, dambha-と関係していると推測したにすぎない。

399. ニーティ (正策, 政策), 400. アニーティ (天災と無縁の者), 401. シュッダートマン (靈魂を淨めた者), 402. シュッダ (清浄な者), 403. マーニヤ (尊敬されるべき者), 404. マノー・ガティ (心の帰趨, 願望),

bahuprasādaḥ svapano darpaṇo 'tha tv amitrajit,  
vedakāraḥ sūtrakāro vidvān samaramardanaḥ. (78)

405. パフ・ブラサーダ (多くの恩寵をもたらす者), 406. スヴァパナ (睡眠), 407. ダルパナ (鏡, 模範), 408. アミトラ・ディット (敵に勝利する者), 409. ヴェーダ・カーラ (ヴェーダ聖典の作者), 410. スートラ・カーラ (スートラ文献の作者), 411. ヴィドヴァット (学者), 412. サマラ・マルダナ (戦闘における破壊者),

mahāmeghanivāsī ca mahāghoro vaśīkaraḥ,  
agnijvālo mahājvālo atidhūmro huto haviḥ. (79)

413. マハー・メーガ・ニヴァースイン (大きな雲に住む者), 414. マハー・ゴラ (非常に恐るべき者), 415. ヴァシー・カラ (服従させる者), 416. アグニ・ヂヴァーラ (火炎をもつ者), 417. マハー・ヂヴァーラ (大きな炎をもつ者), 418. アティ・ドゥームラ (濃い灰色の者), 419. フタ (供物を注がれた者), 420. ハヴィス (焼き供),

vṛṣaṇaḥ śaṅkaro nityo varcasvī dhūmaketaṇaḥ,  
nīlas tathāṅgalubdhaś ca śobhano niravagrahaḥ. (80)

421. ヴリシャナ (雨をもたらす者), 422. シャンカラ (幸福を作る者), 423. ニティヤ (恒常なる者), 424. ヴァルチャスヴィン (光輝をもつ者), 425. ドゥーマ・ケータナ (煙を旗印とする者), 426. ニーラ (蒼い者), 427. アンガ・ルブダ (手足を欲する者)<sup>12</sup>, 428. ショーバナ (美しい者, 立派な者), 429. ニラヴァグラハ (独立した者),

svastidaḥ svastibhāvaś ca bhāgī bhāgakaro laghuḥ,  
utsaṅgaś ca mahāṅgaś ca mahāgarbhaḥ paro yuvā. (81)

430. スヴァスティ・ダ (幸福を与える者), 431. スヴァスティ・バーヴァ (幸福の感情をもたらす者), 432. バギン (分配者), 433. バガ・カラ (分配をなす者), 434. ラグ (陽気な者), 435. ウトサンガ (懐), 436. マハンガ (身体の

<sup>12</sup> liṅga の形で崇拜される Śiva は, 手足をもたないためである。

大きな者／強い手足をもつ者), 437. マハー・ガルバ (偉大な母胎), 438. パラ・ユヴァン (最上の若者),

kr̥ṣṇavarṇaḥ suvarṇaś ca indriyaḥ sarvadehinām,  
mahāpādo mahāhasto mahākāyo mahāyaśāḥ. (82)

439. クリシユナ・ヴァルナ (青黒い肌色の者), 440. ス・ヴァルナ (良い肌色の者), 441. サルヴァ・デ・ヒナン・インドリヤ (一切衆生の精力), 442. マハー・パーダ (偉大な足をもつ者), 443. マハー・ハスタ (偉大な手をもつ者), 444. マハー・カーヤ (大きな体をもつ者), 445. マハー・ヤシャス (偉大な名声をもつ者),

mahāmūrdhā mahāmātro mahānetro digālayaḥ,  
mahādanto mahākārṇo mahāmedhro mahāhanuḥ. (83)

446. マハー・ムルダン (額の大きな者), 447. マハー・マートラ (大きな [背] 丈をもつ者), 448. マハー・ネートラ (眼の大きな者), 449. ディガラヤ (方位の抛り所), 450. マハー・ダンタ (大きな牙をもつ者), 451. マハー・カルナ (耳の大きな者), 452. マハー・メドラ (陰茎の大きな者), 453. マハー・ハヌ (顎の大きな者),

mahānāso mahākambur mahāgrīvaḥ śmaśānadhṛk,  
mahāvakṣā mahorasko antarātmā mṛgālayaḥ. (84)

454. マハー・ナーサ (鼻の大きな者), 455. マハー・カンブ ([首に] 偉大な三本線をもつ者／大きな貝殻をもつ者), 456. マハー・グリーヴァ (偉大な頸をもつ者), 457. シュマシャナ・ドリト (墓地を保持する者), 458. マハー・ヴァクシヤス (胸の広い者), 459. マホラスカ (胸の広い者), 460. アンタラトマン (内なる靈魂), 461. ムリガラヤ (鹿の抛り所),

lambano lambitoṣṭhaś ca mahāmāyaḥ payonidhiḥ,  
mahādanto mahādamaṣṭro mahājihvo mahāmukhaḥ. (85)

462. ランバナ (ぶら下がる者?<sup>13</sup>), 463. ランビトシュタ (唇を下げた者), 464. マハー・マーヤ (大きな幻力をもつ者), 465. パヨニヱイ (水の溜まり場＝海), 466. マハー・ダンタ (大きな牙をもつ者), 467. マハー・ダンシュトラ (大きな牙をもつ者), 468. マハー・ディフヴァ (大きな舌をもつ者), 469. マハー・ムカ (口の大きな者),

<sup>13</sup> 正確な意味は不明。

mahānakho mahāromā mahākeśo mahājataḥ,

asapatnaḥ prasādaś ca pratyayo girisādhanah. (86)

470. マハ・ナカ (大きな爪をもつ者), 471. マハ・ローマン (偉大な体毛をもつ者), 472. マハ・ケーシャ (偉大な髪をもつ者), 473. マハ・チャタ (偉大な弁髪をもつ者), 474. ア・サパトナ (ライヴァルのいない者), 475. プラサダ (恩寵), 476. プラティヤヤ (原因), 477. ギリ・サダナ (岩山で修行する者),  
snehano 'snehanaś caiva ajitaś ca mahāmuniḥ,

vṛkṣākāro vṛkṣaketur analo vāyuvāhanah. (87)

478. スネ・ハナ (愛情をもつ者), 479. ア・スネ・ハナ (愛着と無縁の者), 480. ア・ディタ (征服不能の者), 481. マハ・ムニ (偉大な聖者), 482. ヴリクシャカラ (樹木の形をとる者), 483. ヴリクシャ・ケートウ (樹木を旗印とする者), 484. アナラ (火), 485. ヴァユ・ヴァ・ハナ (風を乗物とする者),

maṇḍalī merudhāmā ca devadānavadarpahā,

atharvaśīrṣaḥ sāmāsya ṛksahasrāmitekṣaṇah. (88)

486. マンダリン (とぐるを巻く者), 487. メール・ダマン (メール山を住まいとする者), 488. デ・ヴァ・ダ・ナヴァ・ダルパ・ハン (神々とダ・ナヴァ鬼の鼻をへし折る者), 489. アタルヴァ・シルシャ (アタルヴァ・ヴェダを頭とする者)<sup>14</sup>, 490. サマ・スィヤ (サマ・ヴェダを顔とする者), 491. リク・サハスラ・ミテクシャナ (千のリチュを無数の眼とする者),

yajuhpādabhujō guhyaḥ prakāśo jaṅgamas tathā,

amoghārthaḥ prasādaś ca abhigamyaḥ sudarśanaḥ. (89)

492. ヤジュフ・パダ・ブヂヤ (ヤジュル・ヴェダの文句を腕とする者), 493. グヒヤ (隠されるべき者, 秘密), 494. プラカーシャ (照明, 光明), 495. チャンガマ (生物), 496. アモ・ガールタ (目的を必ず達成させる者), 497. プラサダ (恩寵), 498. アビガミヤ (訪問されるべき者), 499. ス・ダルシャナ (見目麗しい者),

upahārapriyaḥ śarvaḥ kanakaḥ kāñcanaḥ sthiraḥ,

nābhir nandikaro bhāvyaḥ puṣkarasthapatīḥ sthiraḥ. (90)

500. ウパハラ・プリヤ (寄造物に好かれる者), 501. シャルヴァ (矢で戦う

<sup>14</sup> 「呪法の専門家」の意味か。

者, 射手), 502. カナカ (黄金), 503. カンチャナ (黄金), 504. スティラ (動かない者), 505. ナービ (臍), 506. ナンディ・カラ (歓喜させる者), 507. バヴィヤ (生み出されるべき者), 508. プシュカラ・スタ・パティ (青蓮華に住む者の主), 509. スティラ (動かない者),

*dvādaśas trāsanaś cādyo yajño yajñasamāhitaḥ,*

*naktaṃ kaliś ca kālaś ca makaraḥ kālapūjitaḥ. (91)*

509. ドヴァーダシャ (12 から成る者), 510. トラ-サナ (驚愕せしめる者), 511. アーディヤ (太古の者), 512. ヤッギヤ (祭祀), 513. ヤッギヤ・サマーヒタ (祭祀に集中した者), 514. ナクタ (夜), 515. カリ (カリユガ), 516. カーラ (時, 適時), 517. マカラ (海に棲む怪物), 518. カーラ・プ-ジタ (死の神ヤマに供養される者),

*sagaṇo gaṇakāraś ca bhūtabhāvanasārathih,*

*bhasmaśāyī bhasmagoptā bhasmabhūtas tarur gaṇaḥ. (92)*

519. サ・ガナ (軍勢を伴う者), 520. ガナ・カーラ (軍勢を作る者), 521. ブータ・バ-ヴァナ・サ-ラティ (存在物を生み出す者の長), 522. バスマ・シャーイン (灰の上に寝る者), 523. バスマ・ゴ-プトリ (灰の保護者), 524. バスマ・ブータ (灰に等しい者), 525. タル (樹木), 526. ガナ (軍勢),

*agaṇaś caiva lopaś ca mahātmā sarvapūjitaḥ,*

*śaṅkuś trīśaṅkuḥ saṃpannaḥ śucir bhūtanīṣevitaḥ. (93)*

527. ア・ガナ (軍勢をもたない者), 528. ローパ (侵害), 529. マハートマン (偉大な靈魂), 530. サルヴァ・プ-ジタ (一切衆生に供養される者), 531. シャンク (木釘), 532. トリ・シャンク (三つに分かれた槍をもつ者), 533. サンパンナ (全てを兼ね備えた者), 534. シュチ (清浄), 535. ブータ・ニシエ-ヴィタ (存在物に慕われた者),

*āśramasthaḥ kapotastho viśvakarmā patir varaḥ,*

*śākho viśākhas tāmoṣtho hy ambujālaḥ sunīścayaḥ. (94)*

536. ア-シュラマ・スタ (修行庵に住む者), 537. カポ-タ・スタ (鳩と共に住む者<sup>15</sup>), 538. ヴィシュヴァ・カルマン (あらゆる者の形成をなす者, 造万物者), 539. パティ (主), 540. ヴアラ (最上者), 541. シャ-カ (枝), 542. ヴィシャ-

<sup>15</sup> 「鳩のように野生に生きる者」を含意している可能性がある。

カ (体肢のない者), 543. タムローシュタ (唇が赤褐色の者), 544. アンブ・チャラ (水の網をもつ者), 545. ス・ニシュチャヤ (決意の固い者),

kapilo 'kapilah śūra āyus caiva paro 'parah,

gandharvo hy aditis tārksyah suvijñeyah susārathiḥ. (95)

546. カピラ (赤褐色の者), 547. ア・カピラ (赤褐色でない者), 548. シュウラ (勇者), 549. アーユス (寿命), 550. パラ (最上者), 551. ア・パラ (凌駕する者をもたない者), 552. ガンドルヴァ (天に住む楽人), 553. ア・ディティ (拘束のない者), 554. タルクシュヤ<sup>16</sup>, 555. ス・ヴィッギエヤ (よく認識されている者), 556. ス・サラティ (良い御者, 良い指導者),

paraśvadhāyudho deva arthakārī subāndhavaḥ,

tumbavīnī mahākopa ūrdhvaretā jalesayah. (96)

557. パラシュヴァダユダ (斧を武器とする者), 558. デーヴァ (神), 559. アルタ・カーリン (目的を実現する者), 560. ス・バンダヴァ (良い親戚), 561. トウンバ・ヴィニン (瓢箪を笛とする者), 562. マハー・コーパ (激怒する者), 563. ウールドヴァ・レータス (精子を上昇させる者), 564. チャレー・シャヤ (水上に住む者),

ugro vaṃśakaro vaṃśo vaṃśanādo hy aninditaḥ,

sarvāṅgarūpo māyāvī suhr̥do hy anilo 'nalaḥ. (97)

565. ウグラ (狂暴な者), 566. ヴァンシャ・カラ (血統を作る者), 567. ヴァンシャ・ナーダ (竹で音を奏でる者), 568. ア・ニンディタ (非の打ち所がない者), 569. サルヴァンガ・ルパ (全身が美しい者), 570. マーヤヴィン (幻力をもつ者), 571. ス・フリダ (良い心をもつ者, 友), 572. アニラ (風), 573. アナラ (火),

bandhano bandhakartā ca subandhanavimocanaḥ,

sa yajñārīḥ sa kāmārī mahādamaṣṭro mahāyudhaḥ. (98)

574. バンダナ (束縛, 縄), 575. バンダ・カルトリ (拘束をなす者), 576. ス・バンダナ・ヴィモチャナ (束縛からよく解脱させる者), 577. ヤツギヤリ (祭祀の敵), 578. カマーリ (愛欲の敵), 579. マハー・ダンシュトラ (大きな牙をもつ者), 580. マハユダ (偉大な武器をもつ者),

---

<sup>16</sup> 語源・意味ともに不明.

bāhus tv aninditaḥ śarvaḥ śaṃkaraḥ śaṃkaro 'dhanah,  
amareṣo mahādevo viśvadevaḥ surārihā. (99)

581. パーフ (腕), 582. ア・ニンディタ (非の打ち所がない者), 583. シャルヴァ (矢で戦う者, 射手), 584. シャンカラ (幸福を作る者), 585. ア・ヅナ (財産をもたない者), 586. アマレーシャ (神々の主), 587. マハー・デーヴァ (偉大な神), 588. ヴィシュヴァ・デーヴァ (あらゆる神), 589. スラーリ・ハン (神々の敵を殺す者),

ahirbudhno nirṛtiś ca cekitāno haris tathā,  
ajaikapāc ca kāpālī trisāṅkura ajitaḥ śivaḥ. (100)

590. アヒル・ブドナ<sup>17</sup>, 591. ニルリティ (災害神), 592. チェキターナ (頭のいい者), 593. ハリ (黄褐色の者), 594. アチャイカ・パード (一本足の山羊)<sup>18</sup>, 595. カパーリン (頭蓋骨をもつ者), 596. トリ・シャンク (三つに分かれた槍をもつ者), 597. ア・ヂィタ (征服不能の者), 598. シヴァ (吉祥者),

dhanvantarir dhūmaketuḥ skando vaiśravaṇas tathā,  
dhātā śakraś ca viṣṇuś ca mitras tvaṣṭā dhruvo dharah. (101)

599. ダンヴァンタリ (弧の中で動く者, (後世では) 医療神), 600. ドウマ・ケートゥ (煙を旗印とする者), 601. スカンダ (跳躍する者), 602. ヴァイシュラヴァナ (クベラの子孫), 603. ダートリ (定置者), 604. シャクラ (全能者), 605. ヴィシュヌ<sup>19</sup>, 606. ミトラ (契約), 607. トヴァシュトトリ (工匠), 608. ドルヴァ (不動の者), 609. ダラ (保持する者),

prabhāvaḥ sarvago vāyur aryamā savitā raviḥ,  
udagraś ca vidhātā ca māndhātā bhūtabhāvanaḥ. (102)

610. プラバヴァ (威神力, 超能力), 611. サルヴァ・ガ (一切に浸透する者), 612. ヴァーユ (風), 613. アリヤマン (同僚), 614. サヴィトリ (刺激する者),

<sup>17</sup> 語源・意味ともに不明。

<sup>18</sup> aja ekapād の方が正しい語形と考えられ, ajaikapād は Double Sandhi による語形か。[Dōyama& Gotō 2022: 402] によれば, RV (6. 50. 14) の用例は, „der Sonnenstrahl, der die Sonne unterstützt“ (太陽を支える太陽光線) もしくは, „die Sonne selbst, die als Stützpfeiler den Himmel stützt“ (柱として天空を支える太陽そのもの) を指すとされる (日本語は拙訳) ので, 隠喩的用法と考えられる。

<sup>19</sup> Viṣṇu の語源に関しては諸説あり, いずれも確証がない。 Cf. [Gonda 1954:4 n.11].

615. ラヴィ (太陽), 616. ウダグラ (抜きん出た者), 617. ヴィダートリ (規定者), 618. マンダートリ (心を定置する者, 思慮深い者), 619. ブータ・バヴァナ (存在物を生み出す者),

ratifīrthas ca vāgmī ca sarvakāmaguṇāvahaḥ,

padmagarbho mahāgarbhas candravaktro manoramah. (103)

620. ラティ・ティールタ (歓喜の霊場), 621. ヴァーグミン (雄弁な者), 622. サルヴァ・カーマ・グナーヴァハ (一切の恋愛対象の美德をもたらす者), 623. パドマ・ガルバ (蓮華を母胎とする者), 624. マハー・ガルバ (偉大な母胎), 625. チャンドラ・ヴァクトラ (月のような顔をもつ者), 626. マノ・ラマ (心魅了する者),

balavāṃś copaśāntas ca purāṇaḥ puṇyacañcurī,

kurukartā kālarūpī kurubhūto maheśvaraḥ. (104)

627. パラヴァット (戦闘力ある者), 628. ウパシャンタ (穏やかな者), 629. プラーナ (古いにしえの者), 630. プニヤ・チャンチュリン (福德に通じた者), 631. クル・カルトリ (クル族を作る者), 632. カーラ・ルーピン (死神の姿をとる者), 633. クル・ブータ (クル王に等しい者), 634. マヘ・シュヴァラ (大主宰者),

sarvāśayo darbhāśyī sarveśāṃ prāṇināṃ patiḥ,

devadevamukho 'saktah sad asat sarvaratnavit. (105)

635. サルヴァーシャヤ (一切を住まいとする者), 636. ダルバ・シャーイン (ダルバ草の上に寝る者), 637. サルヴェーシャン・プラニナン・パティ (一切衆生の主), 638. デヴァ・デヴァ・ムカ (神の中の神の顔をもつ者), 639. ア・サクタ (執着のない者), 640. サット (実在, 真), 641. ア・サット (非実在), 642. サルヴァ・ラトナ・ヴィッド (一切の宝石を知る者),

kailāśasīkharāvāsī himavadgirisamaśrayaḥ,

kūlahārī kūlakartā bahuvidyo bahupradaḥ. (106)

643. カイラーサ・シカラヴァースィン (カイラーラ山の頂に住む者), 644. ヒマヴァッド・ギリ・サンシュラヤ (ヒマラーヤ山を拠り所とする者), 645. クーラ・ハーリン (堤防を破壊する者), 646. クーラ・カルトリ (堤防を作る者), 647. パフ・ヴィディヤ (多くの学問を修めた者), 648. パフ・プラダ (多くのものを[我々に] 与える者),

vañijo vardhano vṛkṣo nakulaś candanaś chadaḥ,

sāragrīvo mahājatrur alolaś ca mahauśadhaḥ. (107)

649. ヴァニヂャ (商人), 650. ヴァルダナ (繁榮させる者), 651. ヴリクシャ (樹木), 652. ナクレー (マングース), 653. チャンダナ (白檀), 654. チャダ ([我々を] 覆う者, 衣), 655. サラ・グリーヴァ (木の実を首につける者), 656. マハー・チャトル (鎖骨の大きな者), 657. ア・ローラ (動揺しない者), 658. マハウシヤダ (偉大な滋養草),

siddhārthakārī siddhārthas chandovyākaraṇottaraḥ,

siṃhanādaḥ siṃhadamṣtraḥ siṃhagaḥ siṃhavāhanaḥ. (108)

659. スィッダ-ルタ・カーリン (目的を成就させる者), 660. スィッダ-ルタ (目的を成就した者), 661. チャンド-ヴィヤ-カラノ-ッタラ (韻律と文法を超えた者), 662. スィンハ・ナダ (ライオンの咆哮をなす者), 663. スィンハ・ダンシュトラ (ライオンの牙をもつ者), 664. スィンハ・ガ (ライオンに立ち向かう者), 665. スィンハ・ヴァ-ハナ (ライオンを乗物とする者),

prabhāvātmā jagatkālas tālo lokahitas taruḥ,

sāraṅgo navacakrāṅgaḥ ketumālī sabhāvanaḥ. (109)

666. プラバ-ヴァ-アートマン (靈魂に威神力をもつ者), 667. チャガット・カ-ラ (衆生にとっての時間), 668. タ-ラ (シンバル), 669. ローカ・ヒタ (世間にとっての福祉), 670. タル (樹木), 671. サ-ランガ (斑模様のカモシカ), 672. ナヴァ・チャクラ-ンガ (若い鷺鳥), 673. ケ-トゥ・マー-リン (旗を首飾りとする者), 674. サ・バ-ヴァ-ナ (修習をなす者),

bhūtālayo bhūtapatir ahorātram aninditaḥ,

vāhitā sarvabhūtānām nilayaś ca vibhur bhavaḥ. (110)

675. ブ-ター-ラヤ (存在物の拠り所), 676. ブ-タ・パティ (存在物の主), 677. アホ-ラ-トラ (昼と夜), 678. ア・ニンディタ (非の打ち所がない者), 679. ヴァ-ヒトリ (指導者), 680. サルヴァ・ブ-ター-ナン・ニラヤ (一切の存在物の住まい), 681. ヴィブ (異なる形で現われる者), 682. バ-ヴァ (起源),

amogaḥ saṃyato hy aśvo bhojanaḥ prāṇadhāraṇaḥ,

dṛṭimān matimān dakṣaḥ satkṛtaś ca yugādhipaḥ. (111)

683. ア・モー-ガ (必ず願いを叶える者), 684. サンヤタ (自己を制御した者),

685. アシユヴァ (馬), 686. ボーヂャナ (食物), 687. プラナ・ダラナ (氣息を保持する者), 688. ドリティマツト (決意の固い者), 689. マティマツト (思考力をもつ者), 690. ダクシャ (巧みな者), 691. サツト・クリタ (敬礼される者), 692. ユガ・ディパ (ユガの支配者),

*gopālir gopatir grāmo gocarmavasano haraḥ,*

*hiranyabāhuś ca tathā guhāpālaḥ praveśinām. (112)*

693. ゴンパ・リ (牛飼い), 694. ゴンパティ (牛飼い), 695. グラマ (村落), 696. ゴンチャルマ・ヴァサナ (牛皮を衣とする者), 697. ハラ ([心] 奪う者), 698. ヒラニヤ・パフ (黄金の腕をもつ者), 699. プラヴェーシナン・グハパ・ラ (入門者たちにとっての洞窟の守護者),

*pratiṣṭhāyī mahāharṣo jita-kāmo jī-tendriyaḥ,*

*gandhāraś ca surālaś ca tapaḥkarmaratir dhanuḥ. (113)*

700. プラティシュタイン (建設者?)<sup>20</sup>, 701. マハ・ハルシャ (大きな歓喜), 702. ディタ・カーマ (愛欲に打ち勝った者), 703. ディテンドリヤ (感覚器官に打ち勝った者), 704. ガンダラ (地名: 語源不明), 705. スララ<sup>21</sup>, 706. タバ・カルマ・ラティ (苦行を喜びとする者), 707. ダヌ (弓),

*mahāgīto mahānrtto hy apsarogaṇasevitaḥ,*

*mahāketur dhanur dhātur naikasānucaraś calaḥ. (114)*

708. マハ・ギタ (偉大な歌を歌う者), 709. マハ・ヌリッタ (偉大な踊りをなす者), 710. アプサロ・ガナ・セヴィタ (アプサラス衆に奉仕される者), 711. マハ・ケートウ (偉大な旗をもつ者), 712. ダヌ (弓), 713. ダートウ (五大要素: ākāśa-, anila-, tejas-, jala-, bhū-), 714. ナイカサヌチャラ (多くの峰を歩き回る者), 715. チャラ ([三界を] 移動する者),

*āvedanīya āveśaḥ sarvagandhasukhāvahaḥ,*

*toraṇaś tāraṇo vāyuḥ paridhāvati caikataḥ. (115)*

716. アヴェーダニヤ (知らされるべき者), 717. アヴェーシャ (憑依), 718. サルヴァ・ガンダ・スカヴァハ (一切の香りの幸福感をもたらす者), 719. トラナ (鳥居, 山門), 720. タラナ ([船で彼岸に] 渡らせる者, 救済者), 721.

<sup>20</sup> 正確な意味は不明.

<sup>21</sup> 語源・意味ともに不明.

ヴァーユ (風), 722. エーカタハ・パリダ<sup>ダ</sup>-ヴァティ ([獲物を] 一ヶ所に追い込む者?)<sup>22</sup>,

samyogo vardhano vṛddho mahāvṛddho gaṇādhipaḥ,  
nitya ātmasahāyās ca devāsura<sup>ら</sup>patiḥ patiḥ. (116)

723. サンヨーガ (結合, 合一), 724. ヴァルダ<sup>ダ</sup>ナ (繁栄させる者), 725. ヴリッダ<sup>ダ</sup> (繁栄した者/成熟した者), 726. マハ<sup>ハ</sup>・ヴリッダ<sup>ダ</sup> (大いに繁栄した者), 727. ガナ<sup>ナ</sup>-ディパ (軍勢の長), 728. ニティヤ (恒常なる者), 729. アートマ<sup>マ</sup>・サハ<sup>ハ</sup>-ヤ (靈魂の仲間), 730. デ<sup>デ</sup>-ヴァ<sup>ヴァ</sup>-スラ<sup>スラ</sup>・パティ (神々とアスラたちの主), 731. パティ (主),

yuktaś ca yuktabāhuś ca dvividhaś ca suparvaṇaḥ,  
āśāḍhaś ca suśāḍhaś ca dhruvo hariḥaṇo haraḥ. (117)

732. ユクタ (精神統一した者), 733. ユクタ<sup>タ</sup>・バーフ (腕を組んだ者), 734. ドヴィヴィダ<sup>ダ</sup> (二種の在り方をなす者), 735. ス<sup>ス</sup>・パルヴァ<sup>ヴァ</sup>ナ (良い節目をもつ者), 736. ア<sup>ア</sup>-シャ<sup>シャ</sup>-ダ<sup>ダ</sup> (月名: 満月の際にア<sup>ア</sup>-シャ<sup>シャ</sup>-ダ<sup>ダ</sup>-星に近づくもの), 737. ス<sup>ス</sup>-シャ<sup>シャ</sup>-ダ<sup>ダ</sup><sup>23</sup>, 738. ドルヴァ (不動の者), 739. ハリ<sup>リ</sup>・ハ<sup>ハ</sup>ネ<sup>ネ</sup>・ハラ (ハリを攻撃する者も魅了する者),

vapur āvartamānebhyo vasuśreṣṭho mahāpathaḥ,  
śirohārī vimarśaś ca sarvalakṣaṇabhūṣitaḥ. (118)

740. ヴァプス (美しい姿), 741. ア<sup>ア</sup>-ヴァ<sup>ヴァ</sup>ルタ<sup>タ</sup>マ<sup>マ</sup>-ナ (回転しつつある者), 742. ヴア<sup>ヴァ</sup>ス<sup>ス</sup>・シュレ<sup>レ</sup>-シュ<sup>シュ</sup>タ<sup>タ</sup> (ヴァス神の内の最上の者), 743. マハ<sup>ハ</sup>・パ<sup>パ</sup>タ<sup>タ</sup> (偉大な道), 744. シロ<sup>シ</sup>・ハ<sup>ハ</sup>-リン (首をとる者), 745. ヴィマル<sup>マル</sup>シャ (熟考), 746. サ<sup>サ</sup>ル<sup>ル</sup>ヴァ<sup>ヴァ</sup>・ラ<sup>ラ</sup>ク<sup>ク</sup>シャ<sup>シャ</sup>ナ<sup>ナ</sup>・ブ<sup>ブ</sup>-シ<sup>シ</sup>タ<sup>タ</sup> (一切の特相によって飾られた者),

akṣaś ca rathayogī ca sarvayogī mahābalaḥ,  
samāmnāyo 'samāmnāyas tīrthadevo mahārathaḥ. (119)

747. アク<sup>ク</sup>シャ (車軸), 748. ラ<sup>ラ</sup>タ<sup>タ</sup>・ヨ<sup>ヨ</sup>-ギ<sup>ギ</sup>ン (車操縦に長けた者), 749. サ<sup>サ</sup>ル<sup>ル</sup>ヴァ<sup>ヴァ</sup>・ヨ<sup>ヨ</sup>-ギ<sup>ギ</sup>ン (一切を結びつける者/一切の行法をなす者), 750. マハ<sup>ハ</sup>・バ<sup>バ</sup>ラ<sup>ラ</sup> (大きな戦闘力をもつ者), 751. サ<sup>サ</sup>マ<sup>マ</sup>-ム<sup>ム</sup>ナ<sup>ナ</sup>-ヤ (聖典), 752. ア<sup>ア</sup>・サ<sup>サ</sup>マ<sup>マ</sup>-ム<sup>ム</sup>ナ<sup>ナ</sup>-ヤ

<sup>22</sup> 正確な意味は不明.

<sup>23</sup> 語源・意味ともに不明.

(聖典をもたない者)<sup>24</sup>, 753. ティールタ・デーヴァ (霊場における神), 754. マ  
ハー・ラタ (偉大な戦車に乗る者),

nirjīvo jīvano mantrāḥ śubhākṣo bahukarkaśaḥ,  
ratnaprabhūto raktāṅgo mahārṇavanipānavit. (120)

755. ニルディーヴァ (生命をもたない者), 756. ディーヴァナ ([衆生を] 生か  
す者), 757. マントラ (真言), 758. シュバークシャ (眼の美しい者), 759. バフ・  
カルカシャ (多くの剣をもつ者), 760. ラトナ・プラブータ (宝石に満ち溢れた  
者), 761. ラクターンガ (肢体が赤みがかった者), 762. マハールナヴァ・ニパー  
ナ・ヴィッド (大海と水槽 [の違い] を知る者),

mūlo viśālo hy amṛto vyaktāvvyaktas taponidhiḥ,  
ārohaṇo nirohaś ca śailahārī mahātapaḥ. (121)

763. ムーラ (根), 764. ヴィシャーラ (偉大な者), 765. ア・ムリタ (不死の者  
／死者をもたない者), 766. ヴィヤクターヴィヤクタ (顕現でありかつ非顕現の  
者), 767. タポー・ニヅィ (苦行の容器), 768. アーローハナ (乗物), 769. ニロー  
ハ<sup>25</sup>, 770. シャイラ・ハーリン (岩山を占有する者), 771. マハー・タパス (偉大  
な苦行をなす者),

senākalpo mahākalpo yugāyugakaro hariḥ,  
yugarūpo mahārūpaḥ pavano gahano nagaḥ. (122)

772. セーナ・カルパ (軍隊に相応しい者), 773. マハー・カルパ (偉大な儀軌  
をもつ者／長大なカルパをもつ者), 774. ユガ・ユガ・カラ (ユガと非ユガを作  
る者), 775. ハリ (黄褐色の者), 776. ユガ・ルパ (ユガの姿をもつ者), 777.  
マハー・ルパ (偉大な姿をもつ者), 778. パヴァナ (風／浄化具), 779. ガハナ  
(奥深い者), 780. ナ・ガ (山),

nyāyanirvāpanaḥ pādaḥ paṇḍito hy acalopamaḥ,  
bahumālo mahāmālaḥ sumālo bahulocanaḥ. (123)

781. ニヤヤ・ニルヴァーナ (正理を撒く者), 782. パーダ (御足), 783. パ  
ンディタ (知識人), 784. アチャローパマ (山に喩えられる者), 785. バフ・マー  
ラ (多くの首飾りをもつ者), 786. マハー・マーラ (偉大な首飾りをもつ者), 787.

<sup>24</sup> 「自身が聖典であるので、聖典を必要としない者」を意味すると考えられる。

<sup>25</sup> 語源・意味ともに不明。

ス・マーラ (良い首飾りをもつ者), 788. バフ・ローチャナ (多くの目をもつ者),  
vistāro lavaṇaḥ kūpaḥ kusumaḥ saphalodayaḥ,

vṛṣabho vṛṣabhāṅkāṅgo maṇibilvo jaṭādharaḥ. (124)

789. ヴィスターラ (巨大化 [する者]), 790. ラヴァナ (塩)<sup>26</sup>, 791. クーパ (井戸), 792. クスマ (花), 793. サ・パローダヤ (果報と成功を伴う者), 794. ヴリシヤバ (雄牛), 795. ヴリシヤバンカンガ (雄牛の焼き印を身体にもつ者), 796. マニ・ビルヴァ (宝石としてベルノキの実をもつ者), 797. チャター・ドラ (弁髪を保持する者),

indur visargaḥ sumukhaḥ suraḥ sarvāyudhaḥ sahaḥ,

nivedanaḥ sudhājātaḥ sugandhāro mahādhanuḥ. (125)

798. インドウ (月), 799. ヴィサルガ (陰茎), 800. ス・ムカ (美しい顔をもつ者), 801. スラ (神), 802. サルヴァーユダ (一切の武器をもつ者), 803. サハ (耐え忍ぶ者), 804. ニヴェダナ (宣言する者), 805. スダ・チャタ (不死の酒から生じた者), 806. ス・ガンダラ (良きガンダラ人), 807. マハー・ダヌ (偉大な弓をもつ者),

gandhamālī ca bhagavān utthānaḥ sarvakarmaṇām,

manthāno bahulo bāhuḥ sakalaḥ sarvalocanaḥ. (126)

808. ガンダ・マリン (芳香に包まれる者), 809. バガヴァット (恩寵／福に満ちあふれる者, 福満者), 810. サルヴァ・カルマナ・ウッターナ (一切の行為を拡張する者), 811. マンターナ (攪拌する者), 812. バフラ (恰幅の良い者), 813. パーフ (腕), 814. サ・カラ (全体), 815. サルヴァ・ローチャナ (一切を見る眼をもつ者),

tarastālī karastālī ūrdhvasamphanano vahaḥ,

chattraṃ succhattro vikhyātaḥ sarvalokāśrayo mahān. (127)

816. タラスターリン<sup>27</sup>, 817. カラ・スターリン (手を食器とする者), 818. ウールドヴァ・サンハナナ (上向きに勃起せる者), 819. ヴァハ (運搬する者), 820. チャットラ (日傘), 821. スッ・チャットラ (良い日傘), 822. ヴィクヤータ (著

<sup>26</sup> 「塩」は大海の精髓のようなものであり、シヴァもまた世界の精髓のようなものであることから、そのように呼ばれたものと推測される。

<sup>27</sup> 語源・意味ともに不明。taras-tālin-と考えれば、「速い拍子をもつ者／激しい踊りをなす者」の意か？

名な者), 823. サルヴァ・ローカーシュラヤ (一切世間の拠り所), 824. マハット (偉大な者),

muṇḍo virūpo vikṛto daṇḍimuṇḍo vikurvaṇaḥ,

haryakṣaḥ kakubho vajrī dīptajihvaḥ sahasrapāt. (128)

825. ムンダ (剃髪した者), 826. ヴィルバ (姿を変える者), 827. ヴィクリタ (別の姿をとる者), 828. ダンディ・ムンダ (杖をもつ剃髪者), 829. ヴィクルヴァナ (別の姿をとる者), 830. ハリヤクシャ (眼の黄色い者), 831. カクバ ([他を] 超越する者), 832. ヴァヂリン (棍棒をもつ者), 833. ディープタ・ディフヴァ (燃え立つ舌をもつ者), 834. サハスラ・パッド (千の足をもつ者),

sahasramūrdhā devendraḥ sarvadevamayo guruḥ,

sahasrabāhuḥ sarvāṅgaḥ śaraṇyaḥ sarvalokakṛt. (129)

835. サハスラ・ムルダン (千の頭をもつ者), 836. デーヴェンドラ (神々の帝王), 837. サルヴァ・デーヴァマヤ (一切の神々から成る者), 838. グル (尊師), 839. サハスラ・バーフ (千の腕をもつ者), 840. サルヴァーンガ (一切を体肢とする者), 841. シャラニヤ (拠り所にされるべき者), 842. サルヴァ・ローカ・クリト (一切世間を作る者),

pavitram trimadhur mantrah kaniṣṭhaḥ kṛṣṇapiṅgalah,

brahmaḍaṇḍavinirmātā śataghñī śatapāśadhṛk. (130)

843. パヴィトラ (浄化具), 844. トリ・マドゥ (マドゥで始まる三句を知る者), 845. マントラ (真言), 846. カニシュタ (最も若い者), 847. クリシュナ・ピンガラ (黄褐色の者), 848. ブラフマ・ダンダ・ヴィニルマトリ (梵天の杖という武器を創る者), 849. シャタ・グニン (百人殺し) という武器をもつ者), 850. シャタ・パーシャ・ドリト (百人を捕らえる縄を保持する者),

padmagarbho mahāgarbho brahmagarbho jalodbhavaḥ,

gabhastir brahmakṛd brahmā brahmavid brāhmaṇo gatiḥ. (131)

851. パドマ・ガルバ (蓮華を母胎とする者), 852. マハー・ガルバ (偉大な母胎), 853. ブラフマ・ガルバ (梵の母胎), 854. チャロードバヴァ (水を起源とする者), 855. ガバスティ (光線), 856. ブラフマ・クリト (梵を作る者), 857. ブラフマン (真言の実現力, 梵), 858. ブラフマ・ヴィッド (梵を知る者), 859. ブラフマナ (梵に携わる者, バラモン), 860. ガティ (帰趨),

anantarūpo naikātmā tigmatejāḥ svayaṃbhavaḥ,

ūrdhvagātmā paśupatiṛ vātaramhā manojavaḥ. (132)

861. アナンタ・ルーパ (蛇の姿をもつ者), 862. ナイカトマン (多くの靈魂をもつ者), 863. ティグマ・テージャス (激しい光熱力をもつ者), 864. スヴァヤン・ブー (独りで生じる者), 865. ウールドヴァ・ガトマン (靈魂を上昇させる者), 866. パシュ・パティ (家畜の飼い主), 867. ヴァータ・ランハス (風の速さをもつ者), 868. マノ・チャヴァ (心のように速い者),

candanī padmamālāgryaḥ surabhyuttaraṇo naraḥ,

karnikāramahāsravī nīlamauliḥ pinākadhṛk. (133)

869. チャンダニン (白檀を塗った者), 870. パドマ・マラ-グリヤ (蓮華の花環をもつ最上の者), 871. スラビユッタラナ (スラビ牛を救済する者), 872. ナラ ([理想的な] 男), 873. カルニ・カラ・マハ・スラグヴィン (シロギリの花環を大いに着けた者), 874. ニラ・マウリ (サファイアを頭に着ける者), 875. ピナカ・ドリト (三叉戟さんさげきを保持する者),

umāpatir umākānto jāhnavīdhrg umādhavaḥ

varo varāho varado vareśaḥ sumahāsvanaḥ. (134)

876. ウマ・パティ (ウマの主人), 877. ウマ・カーンタ (ウマの愛する人), 878. チャーフナヴィー・ドリト (ガンガー河を保持する者), 879. ウマ・ダヴァ (ウマの夫), 880. ヴアラ (求婚者, 夫), 881. ヴアラハ (猪), 882. ヴアラダ (願いを叶える者), 883. ヴアレシャ (願望を叶える者), 884. ス・マハ・スヴァナ (大きな妙音を出す者),

mahāprasādo damanaḥ śatruhā śvetapiṅgalaḥ,

pṛitātmā prayatātmā ca saṃyatātmā pradhānadhṛk. (135)

885. マハ・ブラサダ (偉大な恩寵をもたらす者), 886. ダマナ (調教者), 887. シャトル・ハン (敵を殺す者), 888. シュヴェータ・ピンガラ (黄白色の者), 889. プリータートマン (靈魂が歓喜した者), 890. プラヤタートマン (潔斎した靈魂をもつ者), 891. サンヤタートマン (靈魂を制御した者), 892. ブラダ-ナ・ドリト (根本物質を保持する者),

sarvapārśvasutas tārkṣyo dharmasādhāraṇo varaḥ,

carācarātmā sūkṣmātmā suvr̥ṣo govṛ̥ṣeśvaraḥ. (136)

893. サルヴァ・パールシュヴァ・スタ (一切の脇から生まれた者, 一切の英雄),  
894. タルクシュヤ (語源不明), 895. ダルマ・サーダラナ (正法と基盤を同じくする者), 896. ヴアラ (最上者), 897. チャラーチャラートマン (一切衆生の靈魂), 898. スークシュマートン (精妙な魂をもつ者), 899. ス・ヴリシャ (良き雄牛), 900. ゴー・ブリシエーシュヴァラ (雌牛・雄牛の飼い主),

sādhyarṣir vasur ādityo vivasvān savitā mṛdah,

vyāsaḥ sarvasya saṁkṣepo vistaraḥ paryayo nayah. (137)

901. サドヤルシ (機嫌をとられるべき聖者), 902. ヴアス (ヴァス神), 903. アーディティヤ (アディティの子孫, 太陽), 904. ヴィヴァスヴァット (輝かしい者, アーディティヤの一), 905. サヴィトリ (刺激する者), 906. ムリダ (慈悲深い者), 907. ヴィヤーサ (配置者), 908. サルヴァスィヤ・サンクシェーパ (一切の要約/精髓), 909. [サルヴァスィヤ・] ヴィスタラ (一切の説明/詳註), 910. パリヤヤ (回転, 一巡), 911. ナヤ (世間智, 方策),

rtuḥ saṁvatsaro māsaḥ pakṣaḥ saṁkhyāsamāpanaḥ,

kalā kāṣṭhā lavo mātṛā muhūrto 'haḥ kṣapāḥ kṣaṇāḥ. (138)

912. リトウ (季節), 913. サンヴァツツアラ (一年), 914. マーサ (一月), 915. パクシャ (半月), 916. サンクヤー・サマーパナ (数を獲得する者), 917. カラー (16分の1の月/時間単位で1日の900分の1), 918. カーシュタ (時間単位でカラ-の30分の1), 919. ラヴァ (時間単位で瞬きの60分の1), 920. マートラ (時間単位の一つ), 921. ムフルタ (時間単位の一つ), 922. アハン (一日), 923. クシャパー (時間単位の一つ), 924. クシャナー (刹那: 時間単位の一つ),

viśvakṣetraṁ prajābījaṁ liṅgam ādyas tv aninditaḥ,

sad asad vyaktam avyaktam pitā mātā pitāmahaḥ. (139)

925. ヴィシュヴァ・クシェートラ (あらゆる大地), 926. プラヂャー・ビーヂャ (生類の精子), 927. リンガ (リング: 男根の形の崇拜物), 928. アーディヤ (太古の者), 929. ア・ニンディタ (非の打ち所がない者), 930. サット (实在, 真), 931. ア・サット (非实在), 932. ヴィヤクタ (顕現した者), 933. ア・ヴィヤクタ (非顕現の者), 934. ピトリ (父, 祖先), 935. マートリ (母), 936. ピターマハ (父方の祖父/祖先),

svargadvāraṃ prajādvāraṃ mokṣadvāraṃ triviṣṭapam,

nirvāṇaṃ hlādanaṃ caiva brahmalokaḥ parā gatiḥ. (140)

937. スヴァルガ・ドヴァーラ (天界への入り口), 938. プラヂャー・ドヴァーラ (生類にとっての入り口), 939. モークシャ・ドヴァーラ (解脱への入り口, 解脱門), 940. トリ・ヴィシュタパ (三叉に分かれた戟をもつ者/インドラの住む天界), 941. ニルヴァーナ (涅槃: 寂靜の状態), 942. フラダナ (歡喜させる者), 943. ブラフマ・ローカ (梵天の世界), 944. パラー・ガティ (最上の帰趨),

devāsuravinirmātā devāsuraparāyaṇaḥ,

devāsuragurur devo devāsuranamaskṛtaḥ. (141)

945. デーヴァースラ・ヴィニルマートリ (神々とアスラたちを創り出す者), 946. デーヴァースラ・パラヤナ (神々とアスラたちの帰依所), 947. デーヴァースラ・グル (神々とアスラたちの尊師), 948. デーヴァ (神), 949. デーヴァースラ・ナマス・クリタ (神々とアスラたちが礼拝した者),

devāsuramahāmātro devāsuragaṇāśrayaḥ,

devāsuragaṇādhyakṣo devāsuragaṇāgrāṇiḥ. (142)

950. デーヴァースラ・マハー・マートラ (神々とアスラたちに偉大な尺度を与える者), 951. デーヴァースラ・ガナーシュラヤ (神々とアスラの集団にとっての拠り所), 952. デーヴァースラ・ガナードヤクシャ (神々とアスラの集団を監督する者), 953. デーヴァースラ・ガナーグラ・ニー (神々とアスラの集団を統率する者)

devātidevo devarṣir devāsuravarapadaḥ,

devāsūreśvaro devo devāsuramaheśvaraḥ. (143)

954. デーヴァーティデーヴァ (神々を凌ぐ神), 955. デーヴァルシ (神々の中の聖仙), 956. デーヴァースラ・ヴァラ・プラダ (神々とアスラたちの願いを叶える者), 957. デーヴァースレーシュヴァラ (神々とアスラたちにとっての帝王), 958. デーヴァ, 959. デーヴァースラ・マヘーシュヴァラ (神々とアスラたちにとっての大帝王),

sarvadevamayo 'cintyo devatātmātmāmasambhavaḥ,

udbhidas trikramo vaidyo virajo virajombaraḥ. (144)

960. サルヴァ・デーヴァマヤ (一切の神々から成る者), 961. ア・チンティヤ (思慮の及ばない者, 不可思議な者), 962. デーヴァタートマン (神格の靈魂), 963.

ア-トマ・サンバヴァ (靈魂として誕生する者), 964. ウドビダ (噴水), 965. トリ・クラマ (三歩), 966. ヴァイディヤ (学問に通じた者), 967. ヴィラヂャ (汚れない者), 968. ヴィラヂョー・ンバラ (汚れのない衣をまとう者),

*īdyo hastī suravyāghro devasiṃho nararṣabhaḥ,  
vibudhāgravaraḥ śreṣṭhaḥ sarvadevottamottamaḥ. (145)*

969. イ-ディヤ (懇願されるべき者), 970. ハスティン (象), 971. スラ・ヴィヤ-グラ (神々の中の虎), 972. デ-ヴァ・スィンハ (神々の中のライオン), 973. ナラルシャバ (男たちの中の雄牛), 974. ヴィブダ-グラ・ヴァラ (賢者の中でも最上の者), 975. シュレ-シュタ (最も勝れた者), 976. サルヴァ・デ-ヴォッタモ-ッタマ (一切の神々の中でも最上の者),

*prayuktaḥ śobhano vajra īśānaḥ prabhur avyayaḥ,  
guruḥ kānto nijaḥ sargaḥ pavitraḥ sarvavāhanaḥ. (146)*

977. プラユクタ (精神集中した者), 978. ショ-バナ (美しい者, 立派な者), 979. ヴァヂラ (棍棒), 980. イ-シャーナ (支配者), 981. プラブ (主), 982. ア・ヴィヤヤ (不滅の者), 983. グル (尊師), 984. カンタ (魅力的な者), 985. ニヂャ (恒久なる者), 986. サルガ (世界創造), 987. パヴィトラ (浄化具), 988. サルヴァ・ヴァ-ハナ (一切の者の乗物),

*śṛṅgī śṛṅgapriyo babhrū rājarājo nirāmayāḥ,  
abhīrāmaḥ suragaṇo virāmaḥ sarvasādhanāḥ. (147)*

989. シュリンギン (角をもつ者), 990. シュリング・プリヤ (角を好む者), 991. バブル (褐色の者), 992. ラ-ヂャ・ラ-ヂャ (大名の中の大名), 993. ニラマヤ (健康な者), 994. アビラ-マ (魅力的な者, 美しい者), 995. スラ・ガナ (神々の集団), 996. ヴィラ-マ (終結), 997. サルヴァ・サ-ダナ (一切を実現する者),

*lalātākṣo viśvadeho hariṇo brahmavarcasaḥ,  
sthāvarāṇām patīś caiva niyamendriyavardhanaḥ. (148)*

998. ラ-ラ-タークシャ (額に眼をもつ者), 999. ヴィシュヴァ・デ-ハ (あらゆる肉体をもつ者), 1000. ハリナ (黄褐色の者), 1001. ブラフマ・ヴァルチャサ (梵の光輝をもつ者), 1002. スタ-ヴァラ-ナ-ン・パティ (山々の主), 1003. ニヤメ-ンドリヤ・ヴァルダナ (制戒の力を増やす者),

siddhārthaḥ sarvabhūtārtho 'cintyaḥ satyavrataḥ śuciḥ,  
vratādhipaḥ paraṃ brahma muktānām paramā gatiḥ. (149)

1004. スィダダルルタ (目的を成就した者), 1005. サルヴァ・ブララタルタ (一切の存在物の目的), 1006. ア・チンティヤ (思慮の及ばない者, 不可思議な者), 1007. ヴラタラディパ (警戒の支配者), 1008. パラ (最上者), 1009. ブラフマン (真言の実現力, 梵), 1010. ムクタナン・パラマン・ガティ (解脱者たちの最高の帰趨),

vimukto muktatejās ca śrīmān śrīvardhano jagat,  
yathāpradhānam bhagavān iti bhaktyā stuto mayā. (150)

1011. ヴィムクタ (解脱者), 1012. ムクタ・テヂャス (光熱力を放つ者), 1013. シュリマット (シュリに満ちあふれる者), 1014. シュリ・ヴァルダナ (シュリを増大させる者), 1015. ジャガット (衆生)。

[シヴァの] 本質に従って、福満者バガヴァットが、このように、私によって感服バクティをもって称讃されました。

yaṃ na brahmādayo devā vidur yaṃ na maharṣayaḥ,  
taṃ stavyam arcyam vandyam ca kaḥ stoṣyati jagatpatim. (151)

梵天を始めとする神々や偉大な聖仙たちも知ることのない、称讃されるべきであり、讃歎されるべきであり、礼拝されるべきである衆生の主を誰が満足させるでしょうか？

bhaktim eva puraskṛtya mayā yajñapatir vasuḥ,  
tato 'bhyanujñām prāpyaiva stuto matimatām varaḥ. (152)

祭祀の主であるヴァスは、私によってまさに感服バクティを示され、彼から許可を得てから、賢者たちの中の最上者は称讃されるのです。

śivam ebhiḥ stuvan devaṃ nāmbhiḥ puṣṭivardhanaḥ,  
nityayuktaḥ śucir bhūtvā prāpnoty ātmānam ātmanā. (153)

繁栄を増大させるこれらの名前によってシヴァ神を称讃しつつ、常に実習する者は、清浄となって、霊魂によって霊魂を獲得するのです。

etad dhi paramaṃ brahma svayaṃ gītaṃ svayambhuvā,  
ṛṣayaś caiva devāś ca stuvanty etena tatparam. (154)

実に、この最上のブラフマンである[シヴァ千名]は独りで生じる者(=梵天)

によって、自ら歌われました。そして聖仙たちと神々は、この〔梵天〕と共に、それ（＝シヴァ千名の読誦）に専念している者を称讃するのです。

*stūyamāno mahādevaḥ prīyate cātmanāmbhiḥ,*

*bhaktānukampī bhagavān ātmasamsthān karoti tān. (155)*

<sup>マハーデーヴァ</sup>偉大な神（＝シヴァ）は、称讃されながら、自分の諸々の名前によって喜んで  
いるのです。感服者<sup>バクテ</sup>に同情する福満者<sup>バガヴァント</sup>は、〔シヴァ千名を読誦している〕彼らを  
靈魂を確立した者とするのです。

*tathaiva ca manuṣyeṣu ye manuṣyāḥ pradhānataḥ,*

*āstikāḥ śraddadhānās ca bahubhir janmabhiḥ stavaiḥ. (156)*

人々は人々の間で〔その〕本質に従って〔靈魂を確立する〕のと同様に、〔神  
の〕実在を信じる者たちと信ある者たちは、多くの生を通じて、讃歌により、  
〔靈魂を確立した者となるのです〕。

<sup>28</sup>*bhaktiyā hy anyam īśānam paraṁ devaṁ sanātanam,*

*karmaṇā manasā vācā bhāvenāmitatejasaḥ.*

*svapanto jāgramāṇās ca vrajann upaviśaṁs tathā,*

*unmiṣan niṁṣaṁś caiva cintayantaḥ punaḥ punaḥ.*

<sup>27</sup>..*śṛṅvantāḥ śrāvayantaś ca kathayantaś ca te bhavam*..<sup>29</sup>,

*stuvanti stūyamānās ca tuṣyanti ca ramanti ca.*

*janmakoṭisahasreṣu nānāsamsārayoniṣu. (157)*

実に、他ならぬ最高にして永遠の支配者である<sup>バクティ</sup>シヴァ神（＝シヴァ）に対し、  
感服をもって、行為をもって、思考をもって、言葉をもって、測定不能の光熱力  
をもつ者への感情をもって、寝ていたとしても、目覚めていたとしても、歩いて  
いたとしても、座っていたとしても、眼を見開いていたとしても、瞬きをしてい  
たとしても、考え事をしていたとしても、〔誰かの声を〕聞いていたとしても、  
〔自分の声を〕聞かせていたとしても、〔何かを〕話していたとしても、〔梵天に〕  
称讃されている彼らは、〔バクティを〕称讃し、〔バクティに〕満足し、〔バクティに〕  
歓喜するのです。

<sup>28</sup> (156)の後に、V<sub>1</sub> B Dn D<sub>8,10</sub>は、以下4行を挿入するが、文脈を考慮するとこの方が適切  
であると考えられるため、Dutt本と同じくEd.を変更した。

<sup>29</sup> V<sub>1</sub> B Dn D<sub>8,10</sub>の読みに従った。Ed.は、*jāgrataś ca svapantaś ca vrajantaḥ pathi samsthitāḥ* と  
するが、上註に挙げた挿入文が存在しないと、文意が成立しないので、Ed.を変更した。

億千という幾多の生において、種々の輪廻の母胎を経て<sup>30</sup>、

jantor viśuddhapāpasya bhave bhaktiḥ prajāyate,

utpannā ca bhavate bhaktir anyā sarvabhāvataḥ. (158)

罪業を浄化した衆生にとって<sup>バクティ</sup>バヴァへの感服が生じるのです。そして、<sup>バクティ</sup>バヴァへの他ならぬ感服は、一切への感情から生じたのです。

kāraṇaṃ bhāviṭaṃ tasya sarvamuktasya sarvataḥ,

etad deveṣu duṣprāpaṃ manuṣyeṣu na labhyate. (159)

かの一切から解脱した者にとって、一切から動機（／原因）が生み出されます。この「動機」は神々の間でも得難いものであり、人々の間では得られることはありません。

nirvighnā niścalā rudre bhaktir avyabhicāriṇī,

tasyaiva ca prasādena bhaktir utpadyate nṛṇām,

yayā yānti parāṃ siddhiṃ tadbhāvagatacetasāḥ. (160)

障害なく、動揺のない、ルドラ（＝シヴァ）に対する感服は、<sup>バクティ</sup>逸脱することはありません。まさに彼の恩寵により、人々の感服が生じるのです。その感情の中に心を委ねる人々は、それにより、最上の<sup>スィンディ</sup>成就に到達するのです。

ye sarvabhāvopagatāḥ paratvenābhavan narāḥ,

prapannavatsalo devaḥ saṃsārāt tān samuddharet. (161)

人々が一切の感情を経験し、<sup>スィンディ</sup>「成就」と反対の状態となった場合、愛情（／親心）を備えた神は、輪廻から彼らを必ずや救出するでしょう。

evam anye na kurvanti devāḥ saṃsāramocanam,

manuṣyāṇāṃ mahādevād anyatrāpi tapobalāt. (162)

他の神々がこのように人々を輪廻から解放することはありません——<sup>マヘーデーヴァ</sup>偉大な神（＝シヴァ）及び「シヴァの」苦行の力を除いては。

iti tenendrakalpena bhagavān sadasatpatiḥ,

kṛtīvāsāḥ stutaḥ kṛṣṇa taṇḍinā śuddhabuddhinā. (163)

クリシュナよ、このように、善悪の主である<sup>バガヴァット</sup>福満者は、清浄なる知力をもつ、インドラに等しい、かの<sup>タシディ</sup>タシディによって、クリッティ・ヴァーサス（皮革を衣

<sup>30</sup> Ed.では、この位置に詩番号が付されているが、内容からすると疑問が残るので、次の行に続くものとして翻訳した。

とする者) として称讃されました。

stavam etaṃ bhagavato brahmā svayam adhārayat,

brahmā provāca śakrāya śakraḥ provāca mṛtyave. (164)

<sup>バガヴァット</sup> 福満者に対するこの讃歌を梵天は自ら保持しました。梵天は、<sup>シヤククラ</sup> 全能者 (=インドラ) に対し [この讃歌を] 唱えました。全能者は死の神に対して [この讃歌を] 唱えました。

mṛtyuḥ provāca rudrāṇāṃ rudrebhyas taṇḍim āgamat,

mahatā tapasā prāptas taṇḍinā brahmasadmani. (165)

死の神はルドラに対し [この讃歌を] 唱えました。[この讃歌は] ルドラによってタ<sup>ン</sup>デ<sup>ィ</sup>に伝えられました。タ<sup>ン</sup>デ<sup>ィ</sup>は偉大な苦行によって梵天の住居で [それを] 獲得しました。

taṇḍiḥ provāca śukrāya gautamāyāha bhārgavaḥ,

vaivasvatāya manave gautamaḥ prāha mādḥava. (166)

タ<sup>ン</sup>デ<sup>ィ</sup>は、<sup>シユクラ</sup> シユクラに対し [この讃歌を] 唱えました。<sup>バルガヴァ</sup> バルガヴァはガウタマに対し [この讃歌を] 唱えました。マ<sup>ダ</sup>ヴァよ、ガウタマは、<sup>ヴィヴァスヴァット</sup> ヴィヴァスヴァットの子孫であるマヌに対し [この讃歌を] 唱えました。

nārāyaṇāya sādhyāya manur iṣṭāya dhimate,

yamāya prāha bhagavān sādhyo nārāyaṇo 'cyutaḥ. (167)

マヌはナ<sup>ラ</sup>ヤ<sup>ナ</sup>に対し、また叡智ある好ましいサ<sup>ダ</sup>ヤに対し、<sup>バガヴァット</sup> 福満者はヤマに対し、不滅のナ<sup>ラ</sup>ヤ<sup>ナ</sup>はサ<sup>ダ</sup>ヤに対し [この讃歌を] 唱えました。

nāciketāya bhagavān āha vaivasvato yamaḥ,

mārkaṇḍeyāya vārṣṇeya nāciketo 'bhyabhāṣata. (168)

<sup>バガヴァット</sup> 福満者である、<sup>ヴァールシュネヤ</sup> ヴィヴァスヴァットの子孫ヤマは、ナ<sup>チケタ</sup> ナチケタに対し [この讃歌を] 唱えました。<sup>ヴァールシュネヤ</sup> ヴァールシュネヤ (ヴリシュニの子孫) よ、ナ<sup>チケタ</sup> ナチケタはマルカ<sup>ンデヤ</sup> マルカ<sup>ンデヤ</sup>に対し [この讃歌を] 唱えました。

mārkaṇḍeyān mayā prāptaṃ niyamena janārdana,

tavāpy aham amitraghna stavam dadmy adya viśrutam,

svaryam ārogyam āyuṣyaṃ dhanyaṃ balyaṃ tathaiva ca. (169)

チャ<sup>ナルダナ</sup> ナルダナ (=クリ<sup>シュナ</sup> シュナ) よ、私は制戒によってマルカ<sup>ンデヤ</sup> マルカ<sup>ンデヤ</sup>より [この讃歌を] 獲得しました。敵を殺す者よ、私は、今、貴方に対して名高い讃歌を

与えます。同様に、天界，無病，寿命，幸運，力を [与えます]。

na tasya vighnaṃ kurvanti dānavā yakṣarākṣasāḥ,

piśācā yātudhānās ca guhyakā bhujagā api. (170)

[クリシユナは言いました。]<sup>31</sup>ダーナヴァ鬼たち，<sup>ヤクシヤ</sup>夜叉たち，<sup>ラクシヤサ</sup>羅刹たち，<sup>ビシヤーチヤ</sup>悪鬼たち，ヤトウダナ（悪魔の一種）たち，グヒヤカ（半神半人の一種）たち，ブヂャガ（蛇魔）たちもまた，[シヴァ千名の読誦をおこなう] 彼に苦難を与えることはありません。

yaḥ paṭheta śucir bhūtvā brahmacārī jīvendriyaḥ,

abhagnayogo varṣaṃ tu so 'śvamedhaphalaṃ labhet. (171)

雨季にも<sup>ヨーガ</sup>実修を中断することのない，<sup>ブラフマチャーリン</sup>感覚器官を征服した梵行者は，[シヴァ千名の] 読誦によって清浄となり，<sup>アシユヴァメダ</sup>馬祀祭の果報を獲得するにちがいありません。

(了)

<sup>31</sup> この補いは、Ganguli 訳に従った。Dutt 訳はこの一つ前の詩から Kṛṣṇa の言葉とするが、janārdana という voc. の存在により、Ganguli 訳を採る。

## 神名索引

(Sanskrit-Japanese Index to The Names of Śiva in Śivasahasranāma)

※ 尚, Anusvāra の配列は m の後とし, Visarga の配列は s の後とした。

また, Viṣṇusahasranāma と共通する神名についてはボールド体で表記した。

- akapila- (赤褐色でない者) 547  
akṣa- (車軸) 747  
**akṣara-** (不滅の者) 394  
agaṇa- (軍勢をもたない者) 527  
agama- (不動の者) 240  
agnijvāla- (火炎をもつ者) 416  
aṅgalubdha- (手足を欲する者) 427  
**acala-** (不動の者) 349  
acalopama- (山に喩えられる者) 784  
**acintya-** (思慮の及ばない者, 不可思議な者) 961, 1006  
**aja-** (不生の者) 136  
ajaikapād- (一本足の山羊) 594  
**ajita-** (征服不能の者) 480, 597  
atidīpta- (激しく燃え立つ者) 319  
atidhūmra- (濃い灰色の者) 418  
**atulya-** (比類のない者) 268  
atharvaśīrṣa- (アタルヴァ・ヴェーダを頭とする者) 489  
adambha- (詐欺と無縁の者) 385  
aditi (拘束のない者) 553  
adīna- (悲惨と無縁の者) 76  
adri- (岩) 69  
adryālaya- (岩の蔵) 70  
adhana- (財産をもたない者) 585  
adhyātmānugata- (靈魂に関して追求した者) 378  
**anagha-** (罪と無縁の者) 73  
anantarūpa- (蛇の姿をもつ者) 861  
**anala-** (火) 484, 573  
**anindita-** (非の打ち所がない者) 186, 568, 581, 678, 929  
**animiṣa-** (まばたきをしない者) 92  
**anila-** (風) 572  
anīti- (天災と無縁の者) 400  
antarātman- (内なる靈魂) 460  
antarhitātman- (靈魂を隠した者) 48  
apara- (凌駕する者をもたない者) 551  
apsarogaṇasevita- (アプサラス衆に奉仕される者) 710  
abhigamya- (訪問されるべき者) 498  
abhīrāma- (魅力的な者, 美しい者) 994  
abhivādya- (敬礼されるべき者) 32  
amara- (不死の者) 274  
amareṣa- (神々の主) 586  
amarṣaṇa- (容赦のない者) 187  
amita- (測定不能の者) 171  
amitrajit- (敵に勝利する者) 408  
amukhya- (長をもたない者) 289  
**amṛta-** (不死の者 / 死者をもたない者) 765  
**amogha-** (必ず願いを叶える者) 683  
amoghārtha- (目的を必ず達成させる者) 496  
ambujāla- (水の網をもつ者) 544  
amṣu- (光線) 301  
**artha-** (意味, 価値, 目的) 197  
arthakārin- (目的を実現する者) 559  
arthārthakararomaśa- (目的の中の目的を実践する毛深い聖者) 323

- ardana- (迫害者) 31  
aryaman- (同僚) 613  
alola- (動揺しない者) 657  
avyakta- (非顕現の者) 933  
avyaya- (不滅の者) 336, 982  
aśanin- (雷をもつ者) 112  
aśva- (馬) 485  
asakta- (執着のない者) 639  
asat- (非実在) 641, 931  
asapatna- (ライヴアルのいない者) 474  
asamāmnāya- (聖典をもたない者) 752  
asurendrāṇām bandhana- (アスラの將軍  
たちを捕縛する者) 261  
asnehana- (愛着と無縁の者) 479  
**ahan-** (一日) 922  
ahaścara- (日中に出歩く者) 149  
ahirbudhna- (語源不明) 590  
ahorātra- (昼と夜) 677  
ākāśanidhirūpa- (虚空を蔵とする者) 296  
ātmapati- (靈魂の主) 314  
ātmasaṃbhava- (靈魂として誕生する者)  
963  
ātmasaḥāya- (靈魂の仲間) 729  
ādi- (始まり) 57  
ādikara- (始まりを作る者) 58  
**āditya-** (アディティの子孫, 太陽) 302,  
903  
ādyā- (太古の者) 511, 928  
āyudhin- (武器をもつ者) 116  
āyus- (寿命) 549  
ārohaṇa- (乗物) 768  
ārdracarmāmbārāvṛta- (血で濡れた毛皮  
を衣として着る者) 159  
āvartamāna- (回転しつつある者) 741  
āvedaniya- (知らされるべき者) 716  
āveśa- (憑依) 717  
āśramastha- (修行庵に住む者) 536  
āṣāḍha- (月名: 満月の際にアシャーダー  
星に近づくもの) 736  
itihāsakara- (イティハースを作る者) 380  
indu- (月) 978  
īḍya- (懇願されるべき者) 969  
īśāna- (支配者) 357, 980  
**īśvara-** (主宰者) 358  
**ugra-** (狂暴な者) 298, 565  
ugratejas- (強烈な光熱力をもつ者) 218  
utsaṅga- (懐) 435  
udagra- (抜き出した者) 125, 616  
udbhida- (噴水) 964  
unmattaveśapracchanna- (狂人の容貌に  
変装した者) 36  
unmāda- (狂者) 321  
upadeśakara- (教訓を作る者) 311  
upaśānta- (穏やかな者) 628  
upahārapriya- (寄進物に好かれる者)  
500  
umākānta- (ウマ-の愛する人) 877  
umādhava- (ウマ-の夫) 879  
umāpati- (ウマ-の主人) 94, 876  
uṣṇīṣin- (螺髪をもつ者) 123  
ūrdhvagātman- (靈魂を上昇させる者)  
865  
ūrdhvetas- (精子を上昇させる者) 140,  
563  
ūrdhvaliṅga- (上向きの男根をもつ者)  
141  
ūrdhvaśāyin- (仰向けに寝る者) 142  
ūrdhvasaṃhanana- (上向きに勃起せる  
者) 818  
ṛksahasrāmitekṣaṇa- (千のリチュを無数

の眼とする者) 491  
**ṛtu-** (季節) 344, 912  
**ṛtukara-** (季節を作る者) 345  
**ekataḥ paridhāvati** ([獲物を] 一ヶ所に  
 追い込む者?) 722  
**kakubha-** ([他を] 超越する者) 831  
**kanaka-** (黄金) 502  
**kaniṣṭha-** (最も若い者) 846  
**kapardin** (縮れ毛の者) 139  
**kapālavat-** (頭蓋骨をもつ者) 111  
**kapila-** (赤褐色の者) 546  
**kapotastha-** (鳩と共に住む者) 537  
**kamaṅḍaludhara-** (水瓶を保持する者)  
 108  
**karastālin-** (手を食器とする者) 817  
**karṇikāramahāśragvin-** (シロギリの花環  
 を大いに着けた者) 873  
**karṭṛ-** (作り手／行為者) 71, 286  
**karmakālavīd-** (行為をなすべき時を知  
 る者) 210  
**karmasarvabandhavimocana-** (業による  
 一切の束縛から解放する者) 260  
**kalā-** (16分の1の月／時間単位で1日  
 の900分の1) 917  
**kali-** (カリユガ) 515  
**kalpa-** (儀軌) 381  
**kavi-** (見者／詩人) 389  
**kāñcana-** (黄金) 503  
**kānta-** (魅力的な者) 984  
**kāpālin-** (頭蓋骨をもつ者) 595  
**kāmanāśana-** (愛欲を滅ぼす者) 190  
**kāmāri-** (愛欲の敵) 578  
**kāmya-** (愛されるべき者) 103  
**kāla-** (時, 適時) 235, 346, 359, 367, 516  
**kālakatamkata-** (語源不明) 236

**kālapūjita-** (死の神ヤマに供養される者)  
 518  
**kālayogin-** (時刻を司る者) 160  
**kālarūpin-** (死神の姿をとる者) 632  
**kāsthā-** (時間単位でカラ-の30分の1)  
 918  
**kuṅḍī-** (壺) 134  
**kurukarṭṛ-** (クル族を作る者) 631  
**kurubhūta-** (クル王に等しい者) 633  
**kusuma-** (花) 792  
**kūpa-** (井戸) 791  
**kūlakarṭṛ-** (堤防を作る者) 646  
**kūlahārin-** (堤防を破壊する者) 645  
**kṛṣṇa-** (青黒い者) 130  
**kṛṣṇapiṅgala-** (黄褐色の者) 847  
**kṛṣṇavarṇa-** (青黒い肌色の者) 439  
**ketu-** (彗星) 65  
**ketumālin-** (旗を首飾りとする者) 673  
**kailāśasīkharāvāsin-** (カイラ-サ山の頂  
 に住む者) 643  
**kṣaṇa-** (刹那：時間単位の一つ) 924  
**kṣapā-** (時間単位の一つ：一説には24  
 時間) 923  
**khacara-** (空中を進む者) 29  
**khaga-** (空を飛ぶ者) 299  
**khaḍgin-** (剣をもつ者) 114  
**gajahan-** (象を殺す者) 153  
**gaṇa-** (軍勢) 99, 526  
**gaṇakarṭṛ-** (軍勢を作る者) 100  
**gaṇakāra-** (軍勢を作る者) 520  
**gaṇapati-** (軍勢の長(おさ)) 101  
**gaṇādhipa-** (軍勢の長(おさ)) 727  
**gati-** (帰趨) 172, 860  
**gandhadhārin-** (芳香ある者) 138  
**gandhamālin-** (芳香に包まれる者) 808

- gandharva- (天に住む楽人) 552  
gandhāra- (地名：語源不明) 704  
gabhasti- (光線) 855  
**gabhīra-** (奥深い者) 201  
gambhīraghoṣa- (強烈な咆哮をなす者) 200  
gambhīrabalavāhana- (強烈な力をもつ乗物) 202  
gavām pati- (牛たちの飼い主) 340  
**gahana-** (奥深い者) 779  
gīricara- (岩山を歩き回る者) 181  
gīrisādhana- (岩山で修行する者) 477  
guṇavṛddhi- (美德の増大をもたらす者) 238  
guṇākara- (美德の蓄積をもつ者) 157  
**guru-** (尊師) 838, 983  
**guhya-** (隠されるべき者, 秘密) 493  
gocara- (感官の対象) 30  
gocarmavasana- (牛皮を衣とする者) 696  
**gopati-** (牛飼い) 694  
gopāli- (牛飼い) 693  
govr̥ṣeśvara- (雌牛・雄牛の飼い主) 900  
gautama- (最上の牛) 382  
graha- (遊星) 66  
grahapati- (遊星の主) 67  
grāma- (村落) 695  
ghora- (恐るべき者) 177  
ghoratapas- (恐るべき苦行をなす者) 75  
caturmukha- (四つの顔を [リングに] もつ者) 369  
catuṣpatha- (四辻) 163  
candana- (白檀) 653  
candanin- (白檀を塗った者) 869  
candravaktra- (月のような顔をもつ者) 625  
candrasūryagati- (月と太陽の帰趨) 64  
camūstambhana- ([敵] 軍を押しとどめる者) 343  
carācarātman- (一切衆生の靈魂) 897  
carmin- (毛皮を着る者) 14  
cala- ([三界を] 移動する者) 716  
cāruliṅga- (美しい男根をもつ者) 371  
cīravāsas- (樹皮を衣とする者) 145  
cekitāna- (頭のいい者) 592  
chattra- (日傘) 820  
chada- ([我々を] 覆う者, 衣) 654  
chandovyākaraṇottara- (韻律と文法を超えた者) 661  
jagat- (衆生) 1015  
jagatkāla- (衆生にとっての時間) 667  
jaṅgama- (生物) 495  
jaṭādhara- (弁髪を保持する者) 797  
jaṭin- (弁髪者) 13, 228  
**jaya-** (勝利) 220  
jaleśaya- (水上に住む者) 564  
jaleśvara- (水の海=海) 383  
jalodbhava- (水を起源とする者) 854  
jāhnavīdhṛt- (ガンガ-河を保持する者) 878  
jita- (勝者) 198  
jītakāma- (愛欲に打ち勝った者) 702  
jītendriya- (感覚器官に打ち勝った者) 703  
jīvana- ([衆生を] 生かす者) 756  
jyotiṣām ayana- (星たちの黄道) 222  
tapasvin- (苦行者) 34  
tapaḥkarmarati- (苦行を喜びとする者) 706  
taponidhi- (苦行の容器) 767  
tarastālin- (語源不明) 816

tarāṅgavid- (波を知る者) 257  
taru- (樹木) 525, 670  
tāmroṣṭha- (唇が赤褐色の者) 543  
tāraṇa- ([船で彼岸に] 渡らせる者, 救済者) 720  
tārṅsya- (語源不明) 554, 894  
tāla- (シンバル) 668  
tālin- (シンバルをもつ者) 234  
tigmatejas- (激しい光熱力をもつ者) 863  
tigmamanyu- (激しい怒りをもつ者) 151  
tīkṣṇatāpa- (強烈な熱を放つ者) 207  
tīrthadeva- (霊場における神) 753  
tumbavīṇin- (瓢箪を笛とする者) 561  
tejas- (光熱力) 120  
tejaskara- (光熱力を作る者) 121  
tejopahārin- (光熱力を奪う者) 194  
toraṇa- (鳥居, 山門) 719  
trāsana- (驚愕せしめる者) 510  
trikāladhṛt- (過去・現在・未来の三時を保持する者) 259  
trikrama- (三步) 965  
trijata- (3本のお下げをもつ者) 144  
tridaśa- (三十神) 258  
trimadhu- (マドゥで始まる三句を知る者) 844  
triviṣṭapa- (三叉に分かれた戟をもつ者 / インドラの住む天界) 940  
triśanku- (三つに分かれた槍をもつ者) 532, 596  
tvaṣṭṛ- (工匠) 607  
dakṣa- (巧みな者) 690  
dakṣajñāpahārin- (ダクシャの祭祀を破壊する者) 191  
dakṣiṇya- (御布施に相応しい者) 327  
daṇḍin- (杖をもつ者) 227

daṇḍimuṇḍa- (杖をもつ剃髪者) 828  
damana- (調教者) 886  
dambha- (詐欺) 384  
darpaṇa- (鏡, 模範) 407  
darbhaśāyin- (ダルバ草の上に寝る者) 636  
daśabāhu- (10本の腕をもつ者) 91  
digālaya- (方位の拠り所) 449  
digvāsas- (方位を衣服とする者) 102  
diśābāhu- (方位を腕とする者) 242  
dīnasādḥaka- (困窮者を成功させる者) 77  
dīrgha- (長身の者) 127  
dīptajihva- (燃え立つ舌をもつ者) 833  
durvāsas- (裸体の者) 264, 272  
deva- (神) 558, 948  
devatātman- (神格の靈魂) 962  
devadānavadarpahan- (神々とダーナヴァ鬼の鼻をへし折る者) 488  
devadevamukha- (神の中の神の顔をもつ者) 638  
devarṣi- (神々の中の聖仙) 955  
devasiṃha- (神々の中のライオン) 972  
devātideva- (神々を凌ぐ神) 954  
devāsuraṅgrāṇi- (神々とアスラの集団を統率する者) 953  
devāsuraṅgrāṇīdhya- (神々とアスラの集団を監督する者) 952  
devāsuraṅgrāṇīśraya- (神々とアスラの集団にとっての拠り所) 951  
devāsuraṅguru- (神々とアスラたちの尊師) 947  
devāsuraṅmaskṛta- (神々とアスラたちが礼拝した者) 949  
devāsuraṅpati- (神々とアスラたちの主)

- 730  
 devāsuraparāyaṇa- (神々とアスラたちの  
 帰依所) 946  
 devāsuramahāmātra- (神々とアスラたち  
 に偉大な尺度を与える者) 950  
 devāsuramaheśvara- (神々とアスラたち  
 にとっての大帝王) 959  
 devāsuravaraprada- (神々とアスラたち  
 の願いを叶える者) 956  
 devāsuravinirmātr- (神々とアスラたち  
 を創り出す者) 945  
 devāsureśvara- (神々とアスラたちに  
 にとっての帝王) 957  
 devendra- (神々の帝王) 836  
 deha- (肉体) 290  
 deharddhi- (肉体の神通力をもつ者) 291  
 daityahan- (ダイティヤを殺す者) 154  
 dvādaśa- (12 から成る者) 509  
 dvividha- (二種の在り方をなす者) 734  
 dhanu- (弓) 707, 712  
 dhanvantari- (弧の中で動く者, (後世で  
 は) 医療神) 599  
**dhanvin-** (弓をもつ者) 109  
 dhara- (保持する者) 609  
 dharottama- (最上の保持者=大地) 279  
 dharmasādhāraṇa- (正法と基盤を同じく  
 する者)  
 dhātu- (五大要素 : ākāśa-, anila-, tejas-,  
 jala-, bhū-) 713  
**dhātṛ-** (定置者) 603  
 dhūmaketu- (煙を旗印とする者) 600  
 dhūmaketana- (煙を旗印とする者) 425  
 dhṛtmat- (決意の固い者) 688  
**dhruva-** (不動の者) 26, 608, 738  
 nakula- (マンガース) 652  
 nakta- (夜) 514  
 naktaṃcara- (夜に出歩く者) 150  
 nakṣatragrahavidhi- (星宿の形を規定  
 する者) 237  
 nakṣatrasādhaka- (星宿の支配者) 63  
 naga- (山) 780  
**nandana-** (歓喜する者) 364  
**nandin-** (歓喜する者) 363  
 nandikara- (歓喜させる者) 506  
 nandivardhana- (歓喜を増大させる者)  
 365  
 nandīśvara- (ナンディンの主) 362  
 nabha- (天空) 182  
 nabhastala- (天空) 143  
 nabhi- (臍) 505  
**naya-** (世間智, 方策) 911  
**nara-** ([理想的な] 男) 872  
 nararābha- (男たちの中の雄牛) 973  
 nartaka- (踊り手) 175  
 navacakraṅga- (若い鷺鳥) 672  
**nigraha-** (捕縛者) 285  
 nija- (恒久なる者) 985  
 nitya- (恒常なる者) 180, 423, 728  
 nityam-āśramapūjita- (修行庵で常に崇  
 拝される者) 353  
 nityanarta- (常に踊っている者) 174  
 nidhi- (蔵, 器) 59, 122  
 nipātin- ([敵を] 打倒する者) 297  
 niyata- (制戒した者) 24  
**niyama-** (制戒) 53  
 niyamāśraya- (制戒を拠り所とする者)  
 54  
 niyamendriyavardhana- (制戒の力を増や  
 す者) 1003  
 niravagraha- (独立した者) 429

nirāmaya- (健康な者) 993  
 nirṛti- (災害神) 591  
 niroha- (語義不明) 769  
 nirjīva- (生命をもたない者) 755  
**nirvāṇa-** (涅槃：寂靜の状態) 941  
 nivr̥tti- (陰滅) 23  
 nivedana- (宣言する者) 804  
 niśācara- (夜に歩き回る者) 164, 308  
 niśācārin- (夜に歩き回る者) 360  
 nīti- (正策, 政策) 399  
 nīla- (蒼い者) 426  
 nīlakaṇṭha- (蒼い首をもつ者) 93  
 nīlamauli- (サファイアを頭に着ける者)  
 874  
 nr̥tyapriya- (踊りに愛された者) 173  
 naikasānucara- (多くの峰を歩き回る者)  
 714  
 naikātman- (多くの靈魂をもつ者) 862  
**nyagrodha-** (ニヤグロダ樹：イチジク  
 の一種) 204  
 nyagrodharūpa- (ニヤグロダ樹のよう  
 な姿をもつ者) 203  
 nyāyanirvāpaṇa- (正理を撒く者) 781  
 pakṣa- (半月) 915  
 pakṣin- (鳥) 317  
 pakṣirūpin- (鳥の姿をもつ者) 318  
 paṭṭīsin- (槍をもつ者) 115  
 paṇavin- (鼓をもつ者) 233  
 paṇḍita- (知識人) 783  
 pati- (主) 539, 731  
**padmagarbha-** (蓮華を母胎とする者)  
 623, 851  
 padmamālāgrya- (蓮華の花環をもつ最  
 上の者) 870  
 payonidhi- (水の溜まり場＝海) 465

para- (最上者) 550, 1008  
 para-yuvan- (最上の若者) 438  
 parama- (最上者) 395  
 paramaṃ tapas- (最上の苦行/熱力) 81  
 paramaṃ pavitra- (最上の浄化具) 104  
 paraśvāyudha- (斧を武器とする者) 557  
 parā gati- (最上の帰趨) 944  
 paryaya- (回転, 一巡) 910  
**pavana-** (風/浄化具) 778  
**pavitra-** (浄化具) 51, 104, 843, 987  
 paśupati- (家畜の飼い主) 391, 866  
 pāda- (御足) 782  
 pāśa- (縄) 179  
 pitāmaha- (父方の祖父, 祖先) 936  
 piṭṛ- (父, 祖先) 934  
 pinākadhṛt- (三叉戟を保持する者) 361,  
 875  
 puṇyacañcurin- (福德に通じた者) 930  
 purāṇa- (古(いにしえ)の者) 629  
 puṣkarasthapati- (青蓮華に住む者の主)  
 508  
 prakāśa- (照明, 光明) 494  
 prajādvāra- (生類にとっての入り口)  
 938  
**prajāpati-** (生類の祖) 241  
 prajābija- (生類の精子) 926  
 pratiṣṭhāyin- (建設者?) 700  
**pratyaya-** (原因) 476  
 pradhānadhṛt- (根本物質を保持する者)  
 892  
 prabhāva- (威神力, 超能力) 610  
 prabhāvātman- (靈魂に威神力をもつ者)  
 666  
 prabhu- (主) 3, 21, 981  
**pramāṇa-** (判断根拠) 80

prayatātman- (潔斎した靈魂をもつ者) 890	bahulocana- (多くの目をもつ者) 788
prayukta- (精神集中した者) 977	bahurvedya- (多くの学問を修めた者) 647
pravara- (高貴な者) 5	bāṇahasta- (矢を手にする者) 110
pravṛtti- (顕現) 22	bāhu- (腕) 581, 813
praveśinām guhāpāla- (入門者たちにとつての洞窟の守護者) 699	bilāvāsin- (洞窟に住む者) 255
praśāntātman- (静謐な靈魂をもつ者) 216	bījakarṭṭ- (種子を作る者) 377
praskandana- ([敵に]跳びかかる者) 266	bījādhyakṣa- (種子の監督者) 376
prasāda- (恩寵) 49, 275, 497	brahmakṛṭ- (梵を作る者) 856
prāñc- ([最も] 古い者) 325	brahmagarbha- (梵の母胎) 853
prāṇadhāraṇa- (氣息を保持する者) 687	brahmacārin- (梵行者) 353
prītātman- (靈魂が歓喜した者) 889	brahmaṇ- (真言の実現力, 梵) 396, 857
pretacārin- (死靈の間を歩き回る者) 165	brahmadanḍavinirmāṭṭ- ((梵天の杖) と いう武器を創る者) 848
bandhakarṭṭ- (拘束をなす者) 575	brahmaloaka- (梵天の世界) 943
bandhana- (束縛, 縄) 574	brahmavarcasa- (梵の光輝をもつ者) 1001
<b>babhru-</b> (褐色の者) 991	<b>brahmauid-</b> (梵を知る者) 858
bala- (力, 戦闘力) 98, 379	brahmauidām vara- (梵を知る者の中で 最上の者) 368
balacārin- (力強く動く者) 249	<b>brāhmaṇa-</b> (梵に携わる者, パラモン) 859
balarūpadhṛṭ- (戦闘力と容姿を保持する 者) 295	<b>bhagavat-</b> (恩寵／福に満ちあふれる者, 福満者) 28, 809
balavat- (戦闘力ある者) 397, 627	bhagasyākṣīhantr- (バガの眼を撃つ者) 366
balavīra- (戦闘力ある戦士) 97	bhava- (起源) 682, 12
balahan- (戦闘力を破壊する者) 195	bhasmagopṭṭ- (灰の保護者) 523
balin- (戦闘力をもつ者) 231	bhasmabhūta- (灰に等しい者) 524
bahukarkaṣa- (多くの剣をもつ者) 579	bhasmaśāyin- (灰の上に寝る者) 522
bahudhana- (多くの財産をもつ者) 169	bhāgakara- (分配をなす者) 433
bahuprada- (多くのものを [我々に] 与 える者) 648	bhāgin- (分配者) 432
bahuprasāda- (多くの恩寵をもたらす者) 405	bhānu- (光明) 4
bahubhūta- (多くの幸福をもつ者) 168	bhāvya- (生み出されるべき者) 507
bahumāla- (多くの首飾りをもつ者) 785	bhikṣu- (乞食者) 332
bahula- (恰幅の良い者) 812	bhikṣurūpa- (乞食者の姿をとる者) 333

bhūtacārin- (亡霊の間を歩き回る者)  
166  
bhūtaṇiṣevita- (存在物に慕われた者)  
535  
bhūtapati- (存在物の主) 676  
**bhūtabhāvana-** (存在物を生み出す者)  
35, 619  
bhūtabhāvanasārathi (存在物を生み出す  
者の長) 521  
bhūtālaya- (存在物の拠り所) 675  
**bhojana-** (食物) 686  
makara- (海に棲む怪物) 517  
maṇibilva- (宝石としてベルノキの実を  
もつ者) 796  
maṇḍalin- (とぐろを巻く者) 486  
matimat- (思考力をもつ者) 689  
madanākāra- (カマ神の姿をとる者)  
322  
madhu- (蜜) 347  
madhukara- (蜜を作る者) 348  
madhyama- ([世界の] 中心である者)  
193  
**manu-** (人類の始祖) 46  
manogati- (心の帰趨, 願望) 404  
**manojava-** (心のように速い者) 868  
manorama- (心魅了する者) 626  
manovega- (心のような速度をもつ者)  
307  
mantra- (真言) 79, 105, 757, 845  
manthāna- (攪拌する者) 811  
mandhātṛ- (心を定置する者, 思慮深い  
者) 618  
marṣaṇātman- (寛容を本質とする者)  
188  
mahat- (偉大な者) 52, 117, 824

mahākambu- ([首に] 偉大な三本線をも  
つ者/大きな貝殻をもつ者) 456  
mahākarma- (耳の大きな者) 451  
mahākartṛ- (偉大な作り手, 偉大な実践  
者) 392  
mahākarma- (偉大な行為をなす者) 33  
mahākālpa- (偉大な儀軌をもつ者/長  
大なカルパをもつ者) 773  
mahākāya- (大きな体をもつ者) 39, 444  
mahāketu- (偉大な旗をもつ者) 711  
mahākēśas- (偉大な髪をもつ者) 472  
mahākopa- (激怒する者) 562  
mahākṣa- (眼が大きい者) 281  
mahāgarbha- (偉大な母胎) 437, 624, 852  
mahāgīta- (偉大な歌を歌う者) 708  
mahāgrīva- (偉大な頸をもつ者) 456  
mahāghora- (非常に恐るべき者) 414  
mahāṅga- (身体の大きな者/強い手足  
をもつ者) 436  
mahācārin- (偉大な遊行者) 250  
mahājāta- (偉大な弁髪をもつ者) 473  
mahājatru- (鎖骨の大きな者) 656  
mahājihva- (大きな舌をもつ者) 468  
mahājvāla- (大きな炎をもつ者) 417  
**mahātapa-** (偉大な苦行をなす者) 74,  
86, 178, 771  
**mahātejas-** (偉大な光熱力をもつ者)  
219  
mahātman- (偉大な靈魂) 42, 529  
mahādanta- (大きな牙をもつ者) 450,  
466  
mahādamaṣṭra- (大きな牙をもつ者) 467,  
579  
**mahādeva-** (偉大な神) 587  
mahādhanu- (偉大な弓をもつ者) 807

- mahānakha- (大きな爪をもつ者) 470  
 mahānāda- (大きな咆哮をなす者) 161  
 mahānāsa- (鼻の大きな者) 454  
 mahānṛtta- (偉大な踊りをなす者) 709  
 mahānetra- (眼の大きな者) 448  
 mahāpatha- (偉大な道) 743  
 mahāpāda- (偉大な足をもつ者) 442  
 mahāprasāda- (偉大な恩寵をもたらす者) 885  
**mahābala-** (大きな戦闘力をもつ者) 750  
 mahābīja- (偉大な種子) 84  
 mahāmātra- (大きな[背]丈をもつ者) 447  
**mahāmāya-** (大きな幻力をもつ者) 464  
 mahāmāla- (偉大な首飾りをもつ者) 786  
 mahāmukha- (口の大きな者) 469  
 mahāmuni- (偉大な聖者) 481  
 mahāmūrdhan- (額の大きな者) 446  
 mahāmeghanivāsin- (大きな雲に住む者) 413  
 mahāmedhra- (陰茎の大きな者) 452  
 mahāyaśas- (偉大な名声をもつ者) 41, 445  
 mahāyudha- (偉大な武器をもつ者) 580  
 mahāratha- (偉大な戦車に乗る者) 754  
 mahārūpa- (偉大な姿をもつ者) 38, 777  
 mahāretas- (偉大な精子) 85  
 mahāroman- (偉大な体毛をもつ者) 471  
 mahārṇavanipānavid- (大海と水槽[のの違い]を知る者) 762  
 mahāliṅga- (偉大な男根をもつ者) 370  
 mahāvakṣas- (胸の広い者) 458  
 mahāvṛddha- (大いに繁栄した者) 726  
 mahāvega- (大きな衝動をもつ者) 306  
 mahāsenā- (大きな軍隊をもつ者) 337  
 mahāhanu- (顎の大きな者) 453  
 mahāharṣa- (大きな歓喜) 701  
 mahāhastā- (偉大な手をもつ者) 443  
 mahāśvara- (大主宰者) 167, 634  
 mahoraska- (胸の広い者) 459  
 mahauśadha- (偉大な滋養草) 658  
 mahauśadhi- (偉大な滋養草) 393  
 mātṛ- (母) 935  
 mātṛā- (時間単位の一つ) 920  
**mānya-** (尊敬されるべき者) 403  
 māyāvin- (幻力をもつ者) 570  
 māsa- (一月) 914  
 mitra- (契約) 606  
 muktatejas- (光熱力を放つ者) 1012  
**muktānām paramā gati-** (解脱者たちの最高の帰趨) 1010  
 mukhya- (王, 長) 288  
 muṇḍa- (剃髪した者) 133, 825  
 mudita- (歓喜する者) 196  
 muni- (聖者) 313  
 muhūrta- (時間単位の一つ) 921  
 mūrtija- (化身として生まれた者) 229  
 mūrdhaga- (額の先にいる者) 230  
 mūla- (根) 763  
 mṛgabāṇārpaṇa- (鹿に向かって矢を放つ者) 72  
 mṛgarūpa- (野獣の姿をとる者) 137  
 mṛgālaya- (鹿の拠り所) 461  
 mṛḍa- (慈悲深い者) 906  
 mṛdu- (優雅な者) 335  
 medhrajā- (陰茎から生まれる者) 248  
 merudhāman- (メルル山を住まいとする者) 487  
 mokṣadvāra- (解脱への入り口, 解脱門)

- 939
- yajuhpādabhuḥj- (ヤジュル・ヴェーダの文句を腕とする者) 492
- yajña-** (祭祀) 212, 277, 512
- yajñabhāgavid- (供物の分け前を知る者) 269
- yajñasamāhita- (祭祀に集中した者) 513
- yajñahan- (祭祀を破壊する者) 189
- yajñāri- (祭祀の敵) 577
- yukta- (精神統一した者) 732
- yuktabāhu- (腕を組んだ者) 733
- yugarūpa- (ユガの姿をもつ者) 776
- yugādhipa- (ユガの支配者) 692
- yugāyugakara- (ユガと非ユガを作る者) 774
- yugāvaha- (ユガを巡らす者) 375
- yudhiśatruvināśana- (戦争において敵を破滅させる者) 262
- yogin- (実修者) 82
- yojya- (瞑想されるべき者) 83
- raktāṅga- (肢体が赤みがかった者) 761
- ratitīrtha- (歓喜の霊場) 620
- ratnaprabhūta- (宝石に満ち溢れた者) 760
- rathayogin- (車操縦に長けた者) 748
- ravi- (太陽) 615
- rājarāja- (大名の中の大名) 992
- rudra- (恐ろしい者) 146
- raudrarūpa- (恐ろしい姿をもつ者) 300
- laghu- (陽気な者) 434
- lambana- (ぶら下がる者?) 462
- lambitoṣṭha- (唇を下げた者) 463
- laya- (溶解所) 239
- lalātākṣa- (額に眼をもつ者) 998
- lava- (時間単位で瞬きの 60 分の 1) 919
- lavaṇa- (塩) 790
- liṅga- (リング: 男根の形の崇拜物) 927
- liṅgādhyakṣa- (リングの監督者) 372
- loka- (世間) 155
- lokakartr- (世間を作る者) 390
- lokacārin- (世間を歩き回る者) 354
- lokadhātr- (世間を配置する者) 156
- lokapāla- (世間の守護者) 47
- lokahita- (世間にとっての福祉) 669
- lokādhyakṣa-** (世間の監督者) 374
- loke sambhojya- (世間において享受されるべき者) 315
- lopa- (侵害) 528
- lohitākṣa- (眼が赤い者) 280
- vajra- (棍棒) 979
- vajrahasta- (棍棒を手にした者) 341
- vajrin- (棍棒をもつ者) 832
- vaḍavāmukha- (海中の火) 214
- vaṇija- (商人) 649
- vapus- (美しい姿) 740
- vaṃśakara- (血統を作る者) 566
- vaṃśanāda- (竹で音を奏でる者) 567
- vara-<sup>1</sup> (最上者) 7, 68, 199, 540, 896
- vara-<sup>2</sup> (求婚者, 夫) 880
- varada-** (願いを叶える者) 6, 883
- varāha- (猪) 881
- vareśa- (願望を叶える者) 883
- varcasvin- (光輝をもつ者) 424
- vardhana- (繁栄させる者) 650, 724
- vaśikara- (服従させる者) 415
- vaśya- ([超常的な] 支配力) 387
- vaśyakara- (支配力を作る者) 388
- vasu** (ヴァース神) 902
- vasuraśmi- (富の輝きをもつ者) 303
- vasuvega- (富の激増をもたらす者) 305

- vasuśreṣṭha- (ヴァス神の内の最上の者) 742  
 vaha- (運搬する者) 819  
**vāgmin-** (雄弁な者) 621  
**vājasana-** (競争に勝つ者) 351  
 vātaraṃhas- (風の速さをもつ者) 867  
 vānaspatya- (樹木のもとに住む者) 350  
 vāma- (高貴な者) 325  
 vāmadeva- (高貴な神) 324  
**vāmana-** ([体の] 小さな者) 45, 328  
**vāyu-** (風) 612, 721  
**vāyuvāhana-** (風を乗物とする者) 485  
 vāsava- (ヴァス神群の長) 273  
 vāhitṛ- (指導者) 679  
 vikurvaṇa- (別の姿をとる者) 829  
 vikṛta- (別の姿をとる者) 827  
 vikhyāta- (著名な者) 822  
 vighraha- (闘争/身体) 225  
**vijaya-** (征服) 184  
 vijayakālavid- (征服に相応しい時を知る者) 221  
 vijayākṣa- (征服への眼をもつ者) 280  
 vidvat- (学者) 411  
 vidhātṛ- (規定者) 617  
 vinata- (腰の低い者) 126  
 vibudhāgravara- (賢者の中でも最上の者) 974  
 vibhāga- (分配) 243, 267  
**vibhu-** (異なる形で現われる者) 148, 206, 681  
 vimarśa- (熟考) 745  
 vimukta- (解脱者) 1011  
 vimocana- (解脱させる者) 245  
 viraja- (汚れのない者) 967  
 virajombara (汚れのない衣をまとう者) 968  
**virata-** ([欲を] 厭離した者) 396  
**virāma-** (終結) 996  
 virūpa- (姿を変える者) 44, 826  
 vivasvat- (輝かしい者, アーディティヤの一) 904  
 viśākha- (体肢のない者) 338, 542  
 viśāṃ pati- (庶民の統治者) 320  
 viśārada- (怯えと無縁の者) 283  
 viśāla- (偉大な者) 764  
**viśvakarman-** (あらゆる者の形成をなす者, 造万物者) 538  
 viśvakṣetra- (あらゆる大地) 925  
 viśvadeva- (あらゆる神) 588  
 viśvadeha- (あらゆる肉体をもつ者) 999  
 viśvarūpa- (あらゆる姿をとる者) 95  
 viṣānin- (角のある者) 334  
 viṣṇuprasādita- (ヴィシュヌに寵愛された者) 211  
 virūpākṣa- (醜い目をもつ者) 61  
 viṣkambhin- ([敵を] 撃退する者) 342  
 viṣṇu- (語源不明) 605  
 visarga- (陰茎) 799  
 vistāra- (巨大化 [する者]) 789  
**vṛkṣa-** (樹木) 651  
 vṛkṣakarnaṣthiti- (樹木の耳 (=葉) にとどまる者) 205  
 vṛkṣaketu- (樹木を旗印とする者) 483  
 vṛkṣākāra- (樹木の形をとる者) 482  
 vṛddha- (繁栄した者/成熟した者) 725  
 vṛṣaṇa- (雨をもたらす者) 421  
**vṛṣabha-** (雄牛) 794  
 vṛṣabhānkāṅga- (雄牛の焼き印を身体にもつ者) 795  
 vṛṣavāhana- (牛を乗物とする者) 90

vedakāra- (ヴェーダ聖典の作者) 409  
vaiṇavin- (竹笛をもつ者) 232  
vaidambha- (詐欺の一種?) 386  
vaidya- (学問に通じた者) 966  
vaiśravaṇa- (クペーラの子孫) 602  
vyakta- (顕現した者) 932  
vyaktāvyakta- (顕現でありかつ非顕現の者) 766  
**vyavasāya-** (決意, 誓願) 185  
vyālarūpa- (蛇の姿をもつ者) 254  
vyāsa- (配置者) 907  
vratādhipa- (誓戒の支配者) 1007  
śakra- (全能者) 398, 604  
śaṅku- (木釘) 531  
śatagnin- (〈百人殺し〉という武器をもつ者) 113, 849  
śatapāśadhṛt- (百人を捕らえる縄を保持する者) 850  
śatruhan- (敵を殺す者) 887  
śaṃkara- (幸福を作る者) 422, 584  
śaraṇya- (抛り所にされるべき者) 841  
**śarva-** (矢で戦う者, 射手) 501, 583  
śākha- (枝) 541  
**śāśvata-** (永遠の者) 25  
**śikhaṇḍin-** (鬣を持つ者) 15  
śikhin- (鬣を持つ者) 226  
śirohārin- (首をとる者) 744  
**śiva-** (吉祥者) 598  
**śuci-** (清浄) 534  
śuddha- (清浄な者) 402  
śuddhātman- (靈魂を浄めた者) 401  
śubhākṣa- (眼の美しい者) 758  
**śūra-** (勇者) 548  
śṛṅgapriya- (角を好む者) 990  
**śṛṅgin-** (角をもつ者) 989

śailahārin- (岩山を占有する者) 770  
śobhana- (美しい者, 立派な者) 978  
śmaśānacārin- (墓地を徘徊する者) 27  
śmaśānadhṛt- (墓地を保持する者) 457  
śriyāvāsin- (シュリーを住まいとする者) 310  
**śrīmat-** (シュリーに満ちあふれる者) 1013  
śrīvardhana- (シュリーを増大させる者) 1014  
**śreṣṭha-** (最も勝れた者) 975  
śvetapiṅgala- (黄白色の者) 888  
ṣaṣṭibhāga- (60の部分から成る者) 339  
sakala- (全体) 814  
sagaṇa- (軍勢を伴う者) 519  
**sat-** (实在, 真) 640, 930  
**satkṛta-** (敬礼される者) 691  
saphalodaya- (果報と成功を伴う者) 793  
sabhāvana- (修習をなす者) 674  
samaramardana- (戦闘における破壊者) 412  
samāmnāya- (聖典) 751  
samudra- (海) 213  
saṃkhyāsamāpana- (数を獲得する者) 916  
**saṃgraha-** (統治者) 294  
saṃdhi- (同盟, 友好関係) 224  
saṃpanna- (全てを兼ね備えた者) 533  
saṃyata- (自己を制御した者) 684  
saṃyatātman- (靈魂を制御した者) 891  
saṃyoga- (結合, 合一) 723  
**saṃvatsara-** (一年) 913  
saṃvatsarakara- (年を作る者) 78  
**sarga-** (世界創造) 986  
sarpacīranivāsana- (蛇と襁褓を衣とする

- 者) 287
- sarva-** (一切) 10
- sarvakara- (一切をおこなう者) 11
- sarvakarman- (一切の行為をなす者) 55
- sarvakarmaṇām uttāna- (一切の行為を拡張する者) 810
- sarvakāmaguṇāvaha- (一切の恋愛対象の美德をもたらす者) 622
- sarvakāmada- (一切の願いを叶える者) 292
- sarvakālaprasāda- (一切の時の恵みを受ける者) 293
- sarvaga-** (一切に浸透する者) 611
- sarvagandhasukhāvaha- (一切の香りの幸福感をもたらす者) 718
- sarvacārin- (一切を歩き回る者) 271, 355
- sarvajña-** (一切を知る者) 88
- sarvatūryaninādin- (一切の楽器を演奏する者) 252
- sarvatomukha-** (一切の方向に顔を向ける者) 244
- sarvadevottamottama- (一切の神の中でも最上の者) 976
- sarvadevamaya- (一切の神々から成る者) 837, 960
- sarvadehinām indriya- (一切衆生の精力) 441
- sarvadhārin- (一切を保持する者) 278
- sarvapārśvasuta- (一切の脇から生まれた者, 一切の英雄) 893
- sarvapūjita- (一切衆生に供養される者) 530
- sarvabhāvākara- (一切の感情を作る者) 106
- sarvabhāvāna- (一切を生み出す者) 17
- sarvabhūta- (一切の存在物) 43
- sarvabhūtahara- (一切の存在物を追い払う者) 20
- sarvabhūtānām nilaya- (一切の存在物の住まい) 680
- sarvabhūtārtha- (一切の存在物の目的) 1005
- sarvaratnavid- (一切の宝石を知る者) 642
- sarvarūpa- (一切の姿をもつ者) 40
- sarvayogin- (一切を結びつける者/一切の行法をなす者) 749
- sarvalakṣaṇabhūṣita- (一切の特相によって飾られた者) 746
- sarvalāsaka- (一切 [の演目] を踊る者) 176
- sarvalokakṛt- (一切世間を作る者) 842
- sarvalokaprajāpati- (一切世間の生類の主) 37
- sarvalokāśraya- (一切世間の拠り所) 823
- sarvalocana- (一切を見る眼をもつ者) 815
- sarvavādyaparigraha- (一切の楽器を手にとる者) 253
- sarvavāsa- (一切の中に住む者) 162
- sarvavāhana- (一切の者の乗物) 988
- sarvavikhyāta- (一切の者によく知られた者) 9
- sarvasya vistara- (一切の説明/詳註) 909
- sarvasya saṃkṣepa- (一切の要約/精髓) 908
- sarvasādhana- (一切を実現する者) 997
- sarvasādhuniṣevita- (一切の聖者に師事される者) 265
- sarvāṅga- (一切を体肢とする者) 16, 840

sarvāṅgarūpa- (全身が美しい者) 569  
sarovātman- (一切の者の靈魂) 8  
sarvādhāra- (一切のものの支柱) 170  
sarvāyudha- (一切の武器をもつ者) 802  
sarvārtha- (一切の目的) 132  
sarvārthasādhana- (一切の目的を成就する者) 331  
sarvāvāsa- (一切を住まいとする者) 270  
sarvāvāsin- (一切を住まいとする者) 309  
sarvāśaya- (一切を住まいとする者) 635  
sarveśam prāṇinām pati- (一切衆生の主) 637  
**savitṛ-** (刺激する者) 614, 905  
**saha-** (耐え忍ぶ者) 803  
sahasrada- (千のものを与える者) 316  
**sahasrapad-** (千の足をもつ者) 834  
sahasrabāhu- (千の腕をもつ者) 839  
sahasramūrdhan- (千の頭をもつ者) 835  
sahasrahasta- (千の手をもつ者) 183  
sahasrākṣa- (千の眼をもつ者) 60  
sahāya- (援助者) 209  
sādhyaṛṣi- (機嫌をとられるべき聖者) 901  
sāmāśya- (サーマ・ヴェーダを顔とする者) 490  
sāṃkhyaprasāda- (サンクヤの恵みを受ける者) 263  
sāragrīva- (木の実を首につける者) 655  
sāraṅga- (斑模様のカモシカ) 671  
**siddha-** (成就者) 330  
siddhayogāpahārin- (成就者の実修を奪う者) 329  
**siddhārtha-** (目的を成就した者) 660, 1004

siddhārthakārin- (目的を成就させる者) 659  
**siddhi-** (成就／効験) 223  
siṃhaga- (ライオンに立ち向かう者) 664  
siṃhadamaṣṭra- (ライオンの牙をもつ者) 663  
siṃhanāda- (ライオンの咆哮をなす者) 662  
siṃhavāhana- (ライオンを乗物とする者) 665  
siṃhaśārdūlarūpa- (ライオンと虎の姿をとる者) 158  
sugandhāra- (良きガンダ-ラ人) 806  
sucāraavid- (良い行動を知る者／よくスパイを見つける者) 356  
succhattra- (良い日傘) 821  
sūtīrtha- (良い霊場) 129  
sudarśana- (見目麗しい) 499  
sudhājāta- (不死の酒から生じた者) 805  
suniścaya- (決意の固い者) 545  
suparvaṇa- (良い節目をもつ者) 735  
subandhanavimocana- (束縛からよく解脱させる者) 576  
subala- (非常に戦闘力のある者) 294  
subāndhava- (良い親戚) 560  
subtīja- (良い種子をもつ者) 89  
sumahāsvana- (大きな妙音を出す者) 884  
sumāla- (良い首飾りをもつ者) 787  
**sumukha-** (美しい顔をもつ者) 800  
sura- (神) 801  
suragaṇa- (神々の集団) 246, 995  
surabhyuttaraṇa- (スラビ牛を救済する者) 871

- suravyāghra- (神々の中の虎) 971  
 surādhyakṣa- (神々の監督者) 373  
 surārihan- (神々の敵を殺す者) 589  
 surāla- (語義・語源不明) 705  
 surūpa- (美しい姿をもつ者) 119  
 sulabha- (容易に獲得できる者) 817  
 suvaktra- (美顔をもつ者) 124  
 suvarcasa- (美しい光輝をもつ者) 152  
 suvarcasin- (美しい光輝をもつ者) 304  
 suvarṇa- (良い肌色の者) 440  
 suvarṇaretas- (黄金の精子をもつ者) 87  
 suvijñeya- (よく認識されている者) 555  
 suvṛṣa- (良き雄牛) 899  
 suṣāḍha- (語源不明) 737  
 susaha- (よく耐え忍ぶ者) 192  
 susārathi- (良い御者, 良い指導者) 556  
 suhṛda- (良い心をもつ者, 友) 571  
 sūkṣmātman- (精妙な魂をもつ者) 898  
 sūtrakāra- (ストラ文献の作者) 410  
 srgālarūpa- (ジャッカルの姿をとる者)  
 131  
 senākāpa- (軍隊に相応しい者) 772  
 senāpati- (軍隊長) 147  
 soma- (祭りに用いられる特定の植物と  
 その汁) 62  
**skanda-** (跳躍する者) 601  
 stuta- (称讃される者) 251  
**sthāṇu-** (安定した者) 2  
 sthāvarāṇām pati- (山々の主) 1002  
**sthira-** (動かない者) 1, 504, 509  
 snehana- (愛情をもつ者) 478  
 sruvahasta- (スルヴァ杓を手にする者)  
 118  
 svargadvāra- (天界への入り口) 937  
**svastida-** (幸福を与える者) 430  
 svastibhāva- (幸福の感情をもたらす者)  
 431  
 svapana- (睡眠) 406  
 svayambhū- (独りで生じる者) 56, 864  
 svayaṃśreṣṭha- (孤高の者) 96  
 hayagardabhi- (ラバを乗物とする者) 50  
 hara- ([心] 奪う者) 107, 312, 697  
**hari-** (黄褐色の者) 18, 593, 775  
 harikeśa- (黄色い頭髪をもつ者) 128  
 hariṇa- (黄褐色の者) 1000  
 hariṇākṣa- (カモシカのような眼をもつ  
 者) 19  
 harihaṇo hara- (ハリを攻撃する者も魅  
 了する者) 739  
 haryakṣa- (眼の黄色い者) 830  
 haryaśva- (赤茶の馬に乗る者) 208  
**havis-** (焼き供) 420  
 hastin- (象) 970  
 himavadgirisamśraya- (ヒマ-ラヤ山を拠  
 り所とする者) 644  
 hiraṇyakavacodbhava- (黄金の鎧から生  
 まれた者) 247  
 hiraṇyabāhu- (黄金の腕をもつ者) 698  
 huta- (供物を注がれた者) 419  
 hutāśana- (祭火) 217  
 hutāśanasahāya- (祭火の同僚) 215  
 hema- (黄金) 275  
 hemakara- (黄金を作る者) 276  
 hemamālin- (金の首飾りを着けた者)  
 256  
 hlādana- (歓喜させる者) 942